

Canon

EOS
DIGITAL

Macintosh

Digital Photo Professional

ご使用前に必ずお読みください

このたびは、弊社の製品をご購入いただきありがとうございます。

本書には製品をより安全にご使用いただくための注意事項や、操作の手助けとなるマーク、ソフトウェアの使用に関する契約内容などが本書の冒頭に記載されています。これらの内容をご一読いただいてから、各章の内容をお読みになり、正しくご使用ください。

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- ソフトウェアの仕様および、本書の内容を予告無く変更することがあります。
- 本書に掲載しているソフトウェアの画面や表示文言は、実際のソフトウェアと微小に相違することがあります。
- 本書の内容については万全を期していますが、万一、誤りや記載もれなど、お気付きの点がありましたら、キヤノンお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- ソフトウェアを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

登録商標について

- Canon および EOS は、キヤノン株式会社の商標です。
- Adobe、Photoshop は、アドビ システムズ社の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。
- iBook および iMac、QuickTime は、米国アップルコンピュータ社の商標です。
- Macintosh および PowerBook、Power Macintosh は、米国および他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

目次

本書について	4
Digital Photo Professional の主な機能と構成	5
操作の流れ	6
対応画像	9

1 メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする 1-1

この章では、メイン画面の各機能や画像の表示方法、簡単な画像編集について説明します。

2 編集画面で詳細な画像編集をする 2-1

この章では、編集画面の各機能や画像の表示方法、詳細な画像編集について説明します。

3 セレクト編集画面で詳細な画像編集をする 3-1

この章では、セレクト編集画面の各機能や画像の表示方法、詳細な画像編集について説明します。

4 資 料 4-1

トラブルシューティングや Digital Photo Professional の削除のほか、ショートカット一覧など、Digital Photo Professional を快適に使っていただくために、この「資料」を設けました。

ショートカット一覧	4-4
索引	4-8

本書について

本書の操作説明と本文中のマークについて

- 本書では Mac OS X を“OS X”と表記しています。
- 本文中の【 】内の語句は、パソコンの画面上に表示されるボタン名称やアイコン名称などを示しています。
- 本文中の（ ）内の数字は、参照ページを示しています。
- 本文中の▶は、下図のような操作の流れを示しています。

例：【表示】メニュー▶【整列】▶【ファイル名】



- 本文中の以下のマークのついた欄は、それぞれ次のような内容について説明しています。

⚠：ソフトウェアやパソコンの操作に不都合が生じる恐れのある注意事項が書かれています。

📋：基本操作に加えて、知っておいていただきたい事項が書かれています。

安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

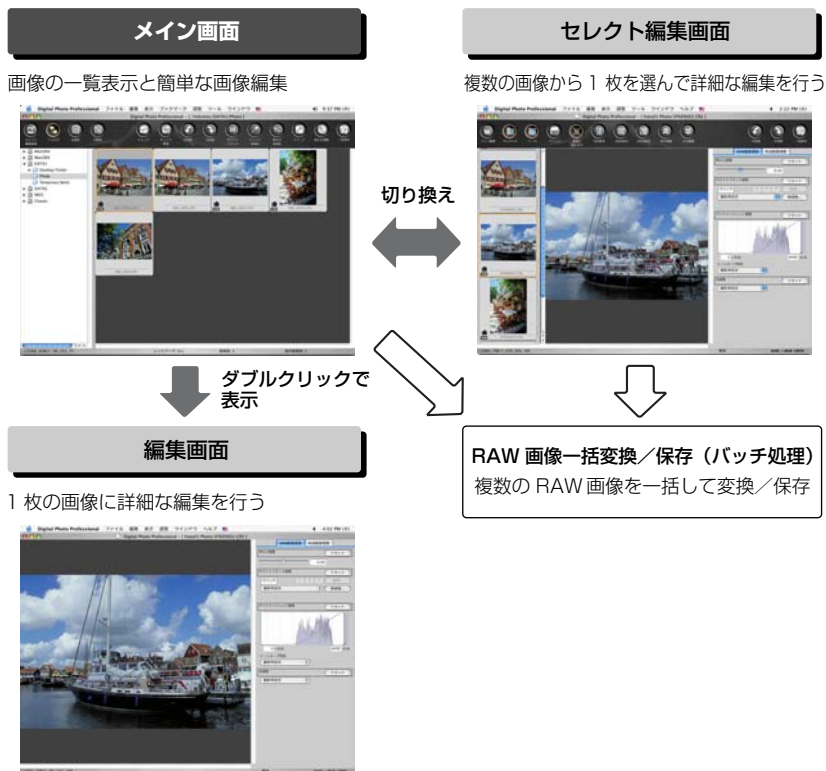
⚠ 警告

同梱の CD-ROM を CD-ROM 対応ドライブ以外では絶対に再生しないでください。音楽用 CD プレイヤーで使用した場合は、スピーカーなどを破損する恐れがあります。またヘッドフォンなどをご使用になる場合は、大音量により耳に障害を負う恐れがあります。

Digital Photo Professional の主な機能と構成

Digital Photo Professional は、RAW 画像撮影が主体のプロ・ハイアマユーザーのニーズに応える高速現像・高速画像編集機能を備えた、キャノン製デジタルカメラ専用のソフトウェアです。本ソフトウェアでは、次のような画像編集を快適に行うことができます。

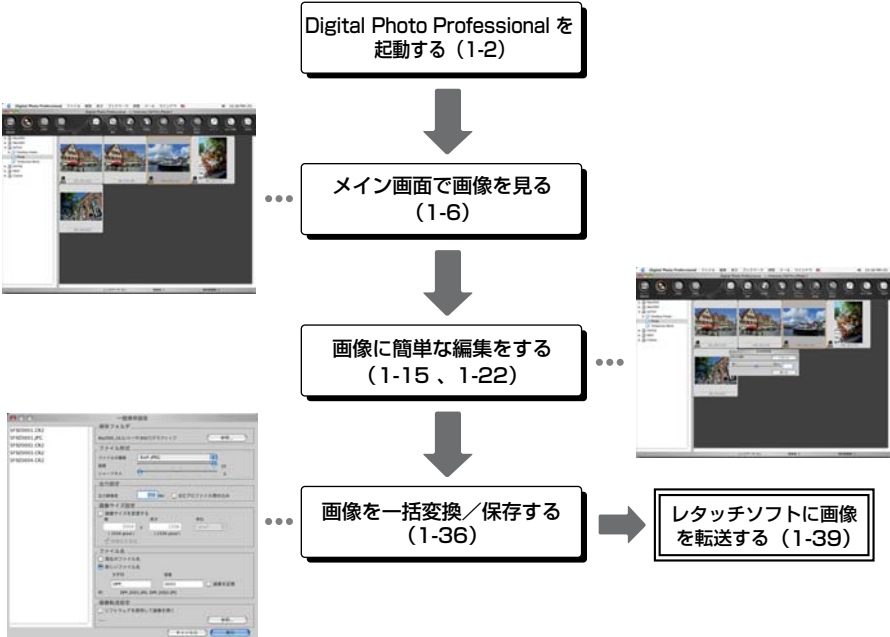
- キヤノン独自の高性能アルゴリズムによる RAW 画像の高速表示／現像処理
- 編集目的に合わせた、メイン画面（サムネイル画像一覧）、編集画面、セレクト編集画面の切り換え
- プロのデジタルワークフローに応える各種リアルタイム画像調整
RAW 画像：ホワイトバランス調整、明るさ調整、ダイナミックレンジ調整、色調整など
RAW 画像、RGB 画像（JPEG 画像、TIFF 画像）：
トーンカーブ調整、明るさ調整、色調整、切り抜き（トリミング）、画像の修正（コピースタンプ）など
- カラーマネージメントシステム対応
- sRGB、Adobe RGB、Wide Gamut RGB の色空間に対応
- 効率のよい、複数 RAW 画像の一括変換／保存機能（バッチ処理）
- 調整前、調整後を同一画面上で比較しながら調整できる、編集前後比較表示機能
- 複数画像の比較編集
- レジビデータ（複数機能の編集内容データ）の保存と適用
- Digital Photo Professional は、起動したときに表示されるメイン画面を中心に、次のような各画面で構成されています。



操作の流れ

Digital Photo Professional の代表的な操作方法を紹介します。

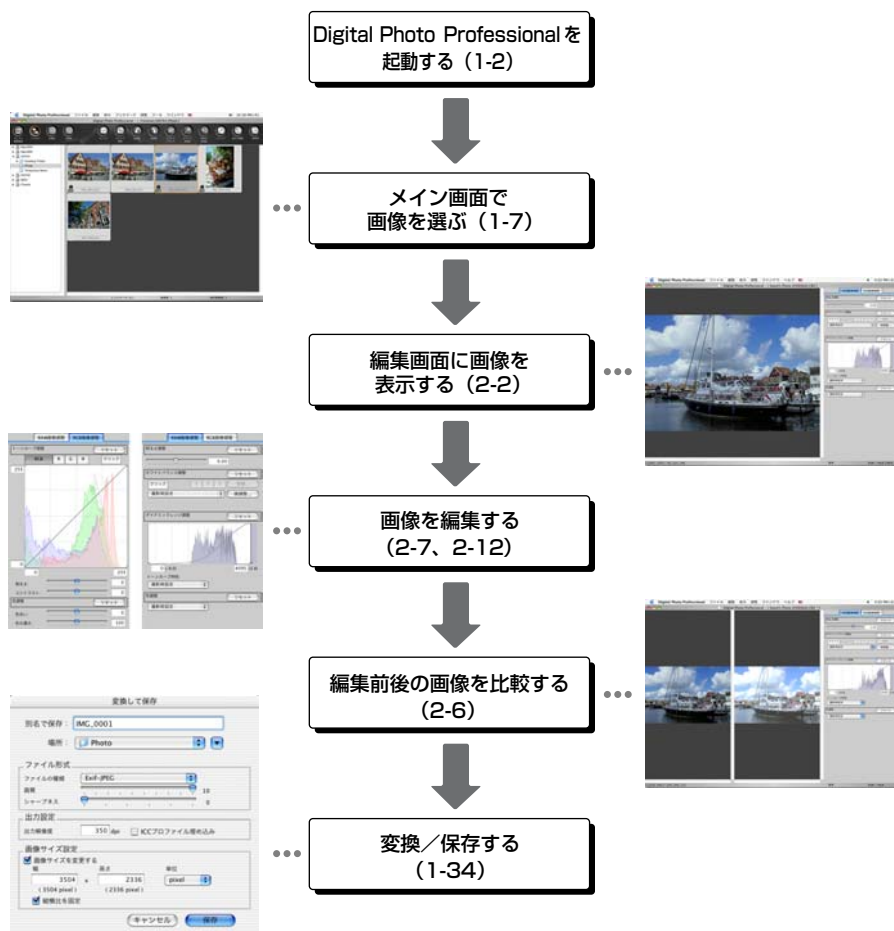
例 1：メイン画面で画像の一覧表示と簡単な編集をする



● メイン画面では、次の編集を行うことができます。

	RAW 画像	JPEG 画像／TIFF 画像
ホワイトバランス調整	○	—
クリックホワイトバランス (RAW)	○	—
明るさ調整 (RAW)	○	—
クリックホワイトバランス	○	○
明るさ調整	○	○
切り抜き (トリミング)	○	○
画像の修正 (コピースタンプ)	○	○
ファイル名の一括変更	○	○

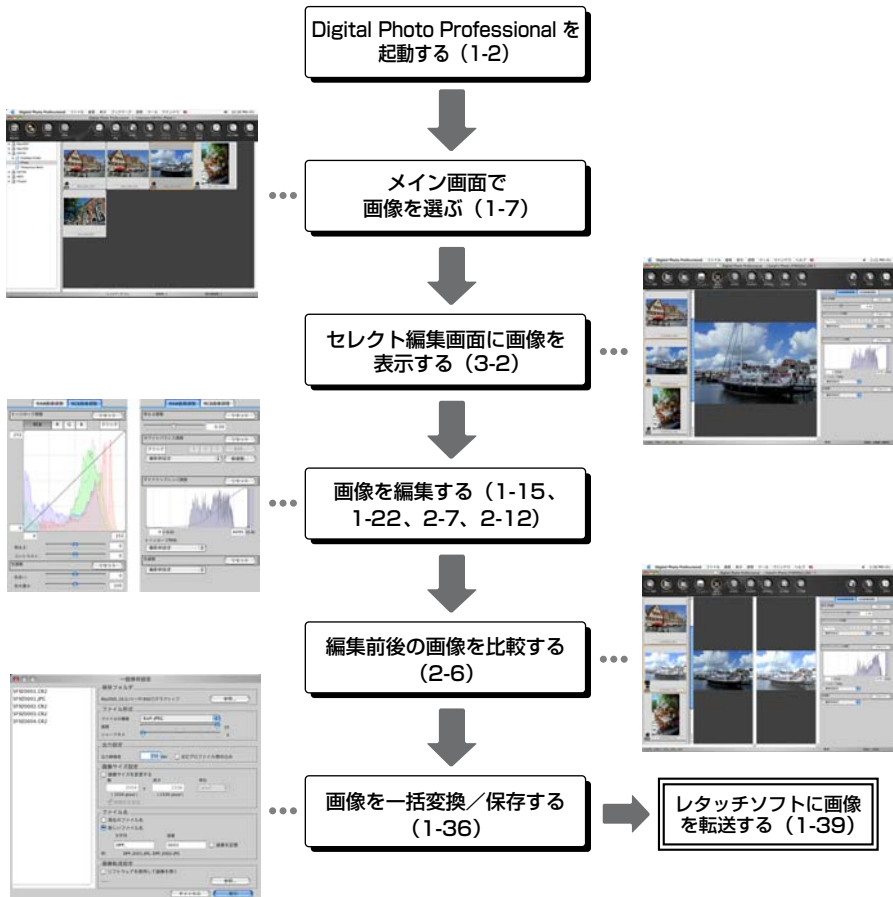
例 2：編集画面で 1 枚の画像に詳細な編集をする



● 編集画面では、次の編集を行うことができます。

	RAW 画像	JPEG 画像／TIFF 画像
明るさ調整 (RAW)	○	—
ホワイトバランス調整	○	—
ダイナミックレンジ調整	○	—
色調整 (RAW)	○	—
トーンカーブ調整	○	○
色調整	○	○
切り抜き (トリミング)	○	○
画像の修正 (コピーペースト)	○	○

例 3：セレクト編集画面で複数の画像から 1 枚を選んで詳細な編集をする



● セレクト編集画面では、次の編集を行うことができます。

	RAW 画像	JPEG 画像／TIFF 画像
明るさ調整 (RAW)	○	—
ホワイトバランス調整	○	—
ダイナミックレンジ調整	○	—
色調整 (RAW)	○	—
トーンカーブ調整	○	○
色調整	○	○
切り抜き (トリミング)	○	○
画像の修正 (コピースタンプ)	○	○

対応画像

画像の種類	拡張子
EOS-1Ds Mark II、EOS-1D Mark II、EOS 20D、EOS Kiss Digital Nで撮影された RAW 画像	.CR2
EOS-1Ds、EOS-1D で撮影された RAW 画像	.TIF
EOS 10D、EOS D60、EOS Kiss Digital、PowerShot Pro1* で撮影された RAW 画像	.CRW
Exif 2.21 に準拠した JPEG 画像、JFIF 画像	.JPG / .JPEG
Exif 規格に準拠した TIFF 画像	.TIF / .TIFF

* Digital Photo Professional の RAW 画像編集機能では編集できません。

メイン画面で 画像の一覧表示と 簡単な画像編集をする



この章では、メイン画面の各機能や画像の表示方法、簡単な画像編集について説明します。

Digital Photo Professional を起動する	1-2	ホワイトバランスを調整する	1-23
画像を表示する	1-6	明るさを調整する	1-28
画像を選ぶ	1-7	色空間の設定	1-29
すべての画像を選ぶ	1-7	編集内容（レシピデータ）を使用する ..	1-30
条件で画像を選ぶ	1-7	レシピを保存する	1-30
フォルダ操作	1-8	レシピを読み込んでペーストする ..	1-30
よく使うフォルダをメニューに追加する	1-8	レシピをコピーして他の画像に適用する	1-31
よく使うフォルダを整理する	1-9	編集内容を元の状態に戻す	1-32
画像を削除する	1-10	最後に保存した状態に戻す	1-32
画像の表示方法を選ぶ	1-11	撮影時の状態に戻す	1-32
サムネイル表示のサイズを選ぶ ..	1-11	編集した画像を保存する	1-33
情報付表示	1-11	上書き保存する	1-33
編集画面表示	1-12	別名で保存する	1-33
セレクト編集画面表示	1-12	画像にサムネイルを保存する	1-33
画像情報を表示する	1-13	RAW 画像を別画像に変換／保存する	1-34
画像を並べ替える	1-13	画像を一括して変換／保存する（バッチ処理）	1-36
フォルダツリー表示領域を非表示にする	1-14	ファイル名を一括して変更する ..	1-38
ツールバーを非表示にする	1-14	レタッチソフトに画像を転送する ..	1-39
画像を編集する	1-15	画像を印刷する	1-40
画像を回転する	1-15	Easy-PhotoPrint で印刷する ..	1-40
クリックホワイトバランス	1-16	EOS Capture で撮影した画像を表示する	1-41
明るさを調整する	1-17	環境設定	1-42
画像を切り抜く	1-18		
画像を修正する	1-20		
RAW 画像を編集する	1-22		

© 2006 The Authors

【Canon Utilities】フォルダ ▶ 【Digital Photo Professional】フォルダ ▶ 【Digital Photo Professional】アイコンの順にダブルクリックする

メイン画面

ツールバー

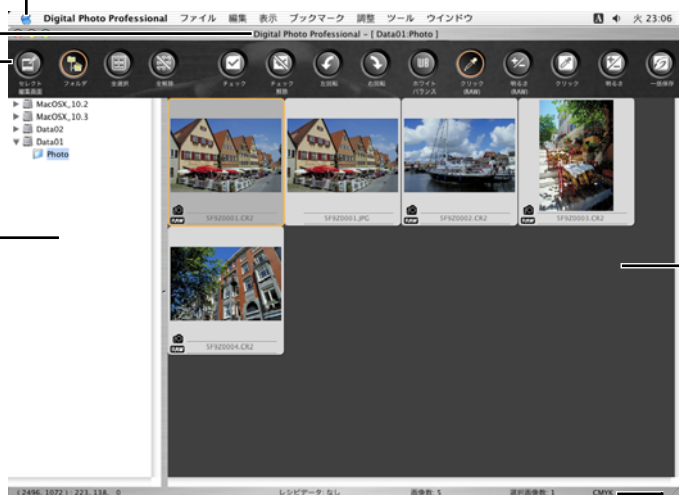
パス表示

表示している画像が保存されているドライブやフォルダのパスを表示します。

メニューバー

[Digital Photo Professional]、[ファイル]、[編集]、[表示]、[ブックマーク]、[調整]、[ツール]、[ウインドウ] メニューを表示します。

画像表示エリア



選んだ画像のレシピデータ
付加状態を表示します。

現在選ばれている画像数を表示します。

画像の総数を表示します。

クリックホワイトバランス（1-16、1-27）の操作中は、カーソルの座標位置と RGB 値（8bit 換算）を表示します。

CMYK シミュレーション
(1-45) を設定したとき
は、**[CMYK]** が表示され
ます。

フォルダツリー表示領域 (1-6、1-8)

- Digital Photo Professionalの終了は、**[Digital Photo Professional]** ×
ニュー▶ **[Digital Photo Professionalを終了]** を選びます。

メニューバー

Digital Photo Professional メニュー

Digital Photo Professional を非表示にします。

* この機能には対応していません。

Digital Photo Professional のバージョン情報を表示します。



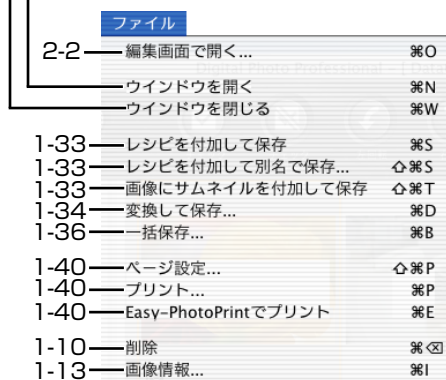
非表示にしているすべてのソフトウェアを表示します。

Digital Photo Professional 以外のソフトウェアを非表示にします。

ファイルメニュー

メイン画面を閉じます。

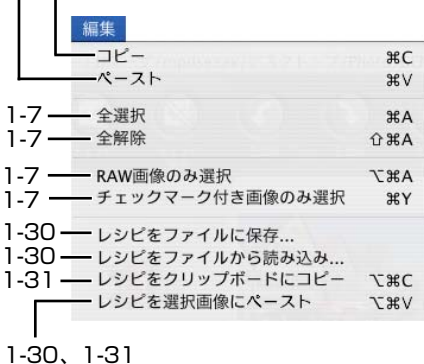
メイン画面を開きます。



編集メニュー

クリップボードの画像をペーストします。

画像をクリップボードにコピーします。



表示メニュー

- 表示**
- 3-2 ——— セレクト編集画面で編集 ⌘→
- 1-14 ——— フォルダ
- 1-14 ——— ツールバー
- 1-11 ——— サムネイル大 ⌘1
- 1-11 ——— サムネイル中 ⌘2
- 1-11 ——— サムネイル小 ⌘3
- 1-11 ——— 情報付きサムネイル ⌘4
- 1-13 ——— 整列 ▶

- ✓ ファイル名
- RAW優先
- チェックマーク
- 撮影日時

ブックマークメニュー

- ブックマーク**
- 1-8 ——— 追加
- 1-9 ——— 整理...

調整メニュー

- 調整**
- 1-15 ——— 左回転 ⌘L
- 1-15 ——— 右回転 ⌘R
- チェックマークをつける ⌘⌘M
- チェックマークをはずす ⌘⌘M
- 1-23 ——— ホワイトバランス...
- 1-28 ——— 明るさ調整(RAW)...
- 1-17 ——— 明るさ調整...
- 1-29 ——— 作業用色空間 ▶
- 1-32 ——— 最後に保存した状態に戻す
- 1-32 ——— 撮影時の状態に戻す

- 画像にチェックマークを設定します。
- 設定したチェックマークを解除します。

- sRGB
- ✓ Adobe RGB
- Wide Gamut RGB

ツールメニュー

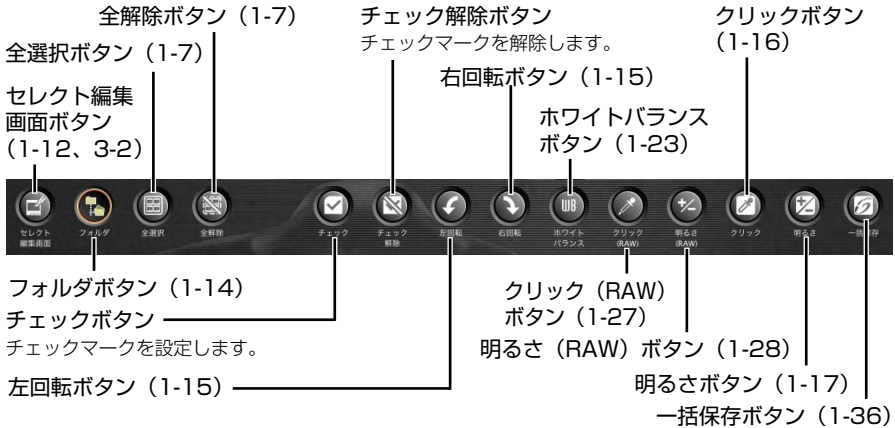
- ツール**
- 1-41 ——— EOS Captureを起動
- 1-18 ——— トリミングツールを起動 ⌘T
- 1-20 ——— コピースタンプツールを起動 ⌘S
- 1-38 ——— リネームツールを起動 ⌘R

ウインドウメニュー

- ウインドウ**
- ウインドウをしまう ⌘M
- すべてを手前に移動
- ✓ Digital Photo Professional - [Data01:Photo]
- Digital Photo Professional の画面を前面に表示します。
- Digital Photo Professional の画面を最小化します。
- 画像を表示しているフォルダのパスが表示されます。

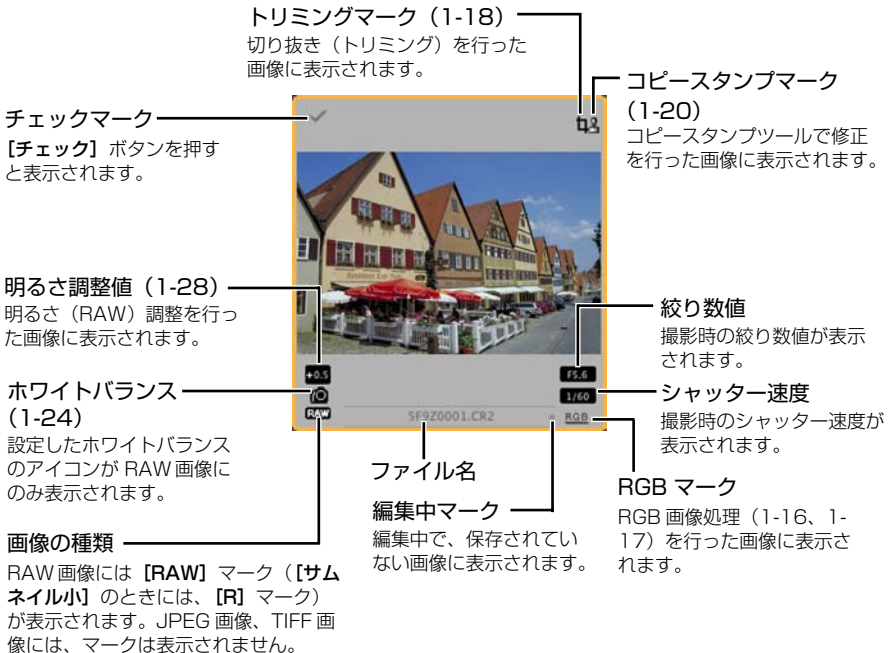
ショートカットの一覧は、4-4 を参照してください。

ツールバー



画像に表示される情報

下の画像は、サムネイルのサイズ (1-11) で、**【サムネイル大】** を選んだときに表示される情報です。



PowerShot Pro1 の RAW 画像には **【RAW】** マークは表示されません。

画像を表示する

パソコンに保存されている画像をメイン画面に表示します。

画像が保存されているフォルダをクリックする



- カメラ内のメモリーカードに保存されている画像は表示できません。あらかじめ、カメラに付属している他のソフトウェアや市販のカードリーダーを使用して、画像をパソコンに保存してください。
- EOS 10D、EOS Kiss Digital、PowerShot Pro1 で Adobe RGB に設定し、撮影した JPEG 画像は、sRGB の色空間が適用されて表示されることがあります。
- EOS 20D、EOS Kiss Digital N で **【モノクロ】** に設定し、撮影した RAW 画像は、カラー画像として表示されます。

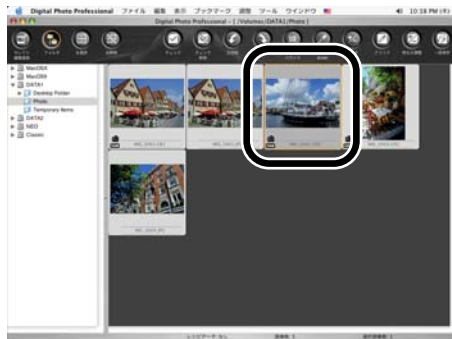


- 表示できる画像については、「対応画像」(9) を参照してください。
- 表示できない画像は、**【×】** が表示されます。
- カメラで「縦横自動回転表示」を「入」に設定して縦位置撮影した画像は、自動的に縦位置で表示されます。
- 市販のカードリーダーを使うと、メモリーカードに保存されている画像を表示することができます。

画像を選ぶ

目的の画像をクリックする

- 選んだ画像の枠に色が付きます。
- 複数の画像を選ぶときは、〈⌘〉キーを押したまま画像をクリックします。
- 連続した画像を選ぶときは、最初の画像をクリックしたあと、〈shift〉キーを押したまま最後の画像をクリックします。



すべての画像を選ぶ

【全選択】 ボタンを押す

- 【編集】メニュー ▶ 【全選択】を選んで、画像を選ぶこともできます。
- 【全解除】ボタンを押すと、すべての画像が解除されます。
- 【編集】メニュー ▶ 【全解除】を選んで、解除することもできます。



条件で画像を選ぶ

【編集】メニュー ▶ 【RAW 画像のみ選択】を選ぶ

- 【編集】メニュー ▶ 【チェックマーク付き画像のみ選択】を選ぶと、チェックマーク (1-5) が設定された画像のみ選ぶことができます。

フォルダ操作

フォルダを〈control〉＋クリックして表示されるメニューで、各種のフォルダ操作を行うことができます。

フォルダを〈control〉＋クリックし、表示されるメニューから操作を選ぶ

- フォルダツリー表示領域のフォルダは、ドラッグ アンド ドロップで他のフォルダへ移動したり、〈option〉キーを押しながらドラッグ アンド ドロップすると、コピーすることができます。



よく使うフォルダをメニューに追加する

よく使うフォルダを【ブックマーク】メニューに追加することができます。

1 フォルダツリー表示領域でフォルダをクリックする



2 【ブックマーク】メニュー ▶ 【追加】を選ぶ

- ➔ 【ブックマーク】メニューにフォルダが登録されます。
- 登録されたフォルダは、【ブックマーク】メニューから選ぶことができます。

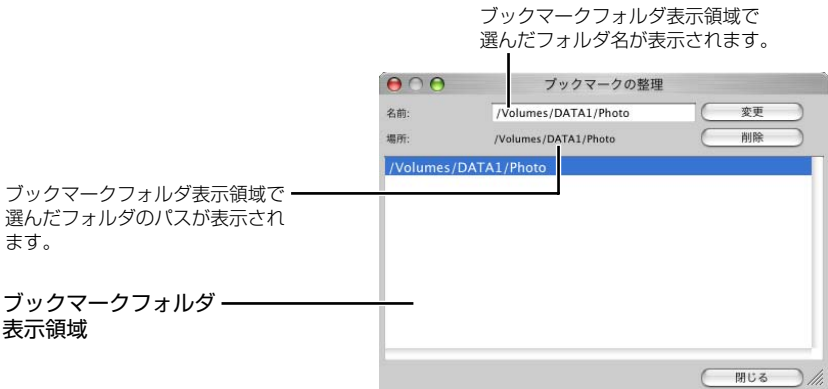
よく使うフォルダを整理する

【ブックマーク】メニューに追加されたフォルダの名前を変更したり、追加したフォルダを削除することができます。

1 【ブックマーク】メニュー ▶ 【整理】を選ぶ

→ 【ブックマークの整理】画面が表示されます。

2 フォルダ名を変更または、削除する



- フォルダ名を変更するときは、ブックマークフォルダ表示領域でフォルダを選び、表示されたフォルダ名を変更して、【変更】ボタンを押します。
- フォルダを削除するときは、ブックマークフォルダ表示領域でフォルダを選び、【削除】ボタンを押します。

3 【閉じる】ボタンを押す

1

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

画像を削除する

不要な画像をパソコンのゴミ箱に移動して削除します。

1 画像を選び、【ファイル】メニュー ▶ 【削除】を選ぶ

→ 画像がゴミ箱に移動します。

2 デスクトップ上で、【Finder】メニュー ▶ 【ゴミ箱を空にする】を選ぶ

→ 画像が削除されます。



- 手順 2 の操作で削除した画像は復元できません。十分に確認してから削除してください。
- 複数の画像を選んでいるときは、選んだすべての画像が削除の対象となります。直前の作業で複数の画像を選んだときなどは、特に注意してください。



EOS 10D、EOS Kiss Digital、EOS D60、PowerShot Pro1 で撮影した画像が保存されている【xxx**CANON**】フォルダには、【CRW_YYYY.CRW】(RAW 画像)、【IMG_YYYY.JPG】(JPEG 画像)の他に【CRW_YYYY.THM】(カメラのインデックス表示用画像)が保存されています。Digital Photo Professional では【CRW_YYYY.THM】は表示されないため、移動や削除はできません。【CRW_YYYY.THM】の移動や削除は、デスクトップ上で行ってください。フォルダ名の【xxx】と、画像名の【YYYY】には、それぞれ数字が入ります。

画像の表示方法を選ぶ

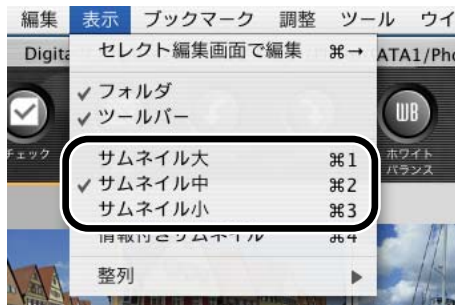
画像の表示サイズや表示方法を変更したり、条件別に並べ替えることができます。

サムネイル表示のサイズを選ぶ

画像の大きさを【サムネイル大】、【サムネイル中】、【サムネイル小】の3種類から選ぶことができます。

表示枠には、各種の情報（1-5）が表示されます。

【表示】メニュー ▶ 【サムネイル大】 / 【サムネイル中】 / 【サムネイル小】 のいずれかを選ぶ



情報付表示

画像の輝度ヒストグラムと撮影情報を表示することができます。

【表示】メニュー ▶ 【情報付きサムネイル】 を選ぶ



1

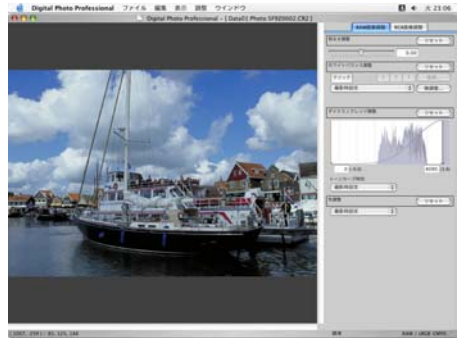
メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面表示

画像を拡大表示して、詳細な編集を行うことができます。

画像をダブルクリックする

- ➡ 編集画面が表示されます。
- 編集画面については、「2章 編集画面で詳細な画像編集をする」を参照してください。



セレクト編集画面表示

複数の画像から、1枚の画像を選んで、詳細な編集を行うことができます。

複数の画像を選び、[セレクト編集画面] ボタンを押す



- ➡ メイン画面がセレクト編集画面に切り換わります。
- セレクト編集画面については、「3章 セレクト編集画面で詳細な画像編集をする」を参照してください。



画像情報を表示する

画像の各種情報を確認することができます。

画像を選び、**【ファイル】メニュー ▶ 【画像情報】** を選ぶ

- ➔ 画像情報が表示されます。
- **【閉じる】** ボタンを押すと画面が閉じます。



EOS 10D、EOS Kiss Digital、PowerShot Pro 1 で Adobe RGB に設定し、撮影した JPEG 画像は、画像情報が表示されないことがあります。

画像を並べ替える

画像を条件によって並べ替えます。

【表示】メニュー ▶ 【整列】 ▶ 【ファイル名】 / 【RAW 優先】 / 【チェックマーク】 / 【撮影日時】 のいずれかを選ぶ

- 選んだ条件により、画像を次の順に並べ替えます。



- 【ファイル名】** : 0～9 → a～z の順に表示します。
- 【RAW 優先】** : RAW 画像 (CR2 → CRW → TIF) → RGB 画像 (JPG → TIF) の順に表示します。拡張子が同じときは **【ファイル名】** 順に表示します。
- 【チェックマーク】** : チェックマーク付き画像 (**【ファイル名】** 順) → チェックマークなし画像 (**【ファイル名】** 順) の順に表示します。
- 【撮影日時】** : 撮影日時の早い順に表示します。撮影日時が同じときは **【ファイル名】** 順に表示します。

フォルダツリー表示領域を非表示にする

【フォルダ】 ボタンを押す

- 【表示】 メニュー ▶ 【フォルダ】
を選んで非表示にすることもできます。
- 再度同じ操作を行うと、フォルダツリー表示領域が表示されます。



ツールバーを非表示にする

【表示】 メニュー ▶ 【ツールバー】 を選ぶ

- 再度同じ操作を行うと、ツールバーが表示されます。

画像を編集する

Digital Photo Professional が対応している RAW 画像、JPEG 画像、TIFF 画像に、各種の編集を行うことができます。

1 画像を選ぶ (1-7)

2 画像を編集する (1-15 ~ 1-21)

- 編集内容は、コピーして他の画像にペーストし、反映することもできます。(1-31)
- 編集した画像を、最後に保存した状態や撮影時の状態に戻すことができます。(1-32)

3 編集した画像を保存する (1-33)

❗ 編集した画像を保存 (1-33) してから、Digital Photo Professional を終了してください。

- 複数の画像を選んでいるときは、選んだすべての画像に編集内容が適用されます。
- 編集内容は、画像とは別の単独ファイルとして保存できます。(1-30)
- 編集した画像は、レタッチソフトに転送することができます。(1-39)

画像を回転する

選んだ画像を左右 90 度単位で回転させることができます。

【左回転】 ボタンまたは、【右回転】 ボタンを押す

- 【調整】メニュー ▶ 【左回転】 または、【右回転】 を選んで回転させることもできます。



- カメラで「縦横自動回転表示」を「入」に設定して縦位置撮影した画像は、自動的に縦位置で表示されます。
- 回転した画像を他のソフトウェアで表示すると、画像の回転が反映されないことがあります。

クリックホワイトバランス

選んだ部分を白の基準として、自動的にホワイトバランスを調整することができます。

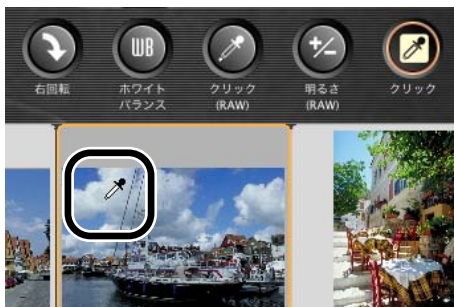
1 【クリック】 ボタンを押す

- 画像の上にカーソルを移動すると、**【🖱️】** が **【🔍】** に変わります。



2 白の基準とする部分をクリックする

- 選んだ部分が白くなるように調整されます。
- 続けて別の部分をクリックすると、再度調整されます。
 - クリックホワイトバランスを終了するときは、**【クリック】** ボタンを押します。



-  ● カーソルの座標位置と RGB 値 (8bit 換算) がメイン画面の左下に表示されます。(1-2)
- クリックした位置から 1×1 ピクセルの値を基準に画像が調整されます。
 - 画像の無彩色 (ニュートラルグレー) 部分を選んで、調整することもできます。

明るさを調整する

画像の明るさを - 100 ~ + 100 (1 ステップ) の範囲で調整することができます。

1 【明るさ】 ボタンを押す

→ 【明るさ調整】 画面が表示されます。

- 【調整】 メニュー ▶ 【明るさ調整】 を選んで表示することもできます。



2 画像を見ながら調整する

左右にドラッグして調整します。

画像を調整前の状態に戻します。



数値を入力して調整します。

3 【閉じる】 ボタンを押す

1

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

画像を切り抜く

画像を任意の範囲で切り抜くこと（トリミング）ができます。

1 【ツール】メニュー ▶ 【トリミングツールを起動】を選ぶ

→ トリミング画面が表示されます。

2 画像を切り抜く（トリミング）

- 【縦横比】 リストボックスから任意の比率を選び、図のようにトリミング範囲をドラッグします。



カーソルの座標位置を表示します。
トリミング範囲を設定したときは、枠の左上、右下のXY座標、
幅、高さ、アスペクト比を表示します。

- 設定したトリミング範囲の上にカーソルを移動すると、【】が【】に変わります。ドラッグしてトリミング範囲を移動します。
- 設定したトリミング範囲の四隅にカーソルを移動すると、【】が【】に変わります。また、四辺に移動すると【】または、【】に変わります。ドラッグしてトリミング範囲の大きさを変更します。

トリミング範囲の縦横比を選びます。

設定前の状態に戻します。

リセット

縦横比

3:2

3.00 : 2.00

【縦横比】 リストボックスで選んだ比率が表示されます。また、【縦横比】 リストボックスで【カスタム】を選んだときは任意の比率を入力することができます。

設定したトリミング範囲の左上の座標を表示します。また、任意の数値を入力して、座標を設定することもできます。

X Y

247 212

幅 高さ

1096 731

設定したトリミング範囲の大きさを表示します。また、任意の数値を入力して、大きさを設定することもできます。

コピー ペースト

トリミング範囲に境界線を表示します。

☒ 境界線を表示する

他の画像でコピーしたトリミング範囲を、表示している画像に反映します。*

トリミング画面を全画面表示にします。元の画面に戻すときは、画像上で〈control〉+クリックして表示されるメニューから【通常表示】を選びます。

不透明度

トリミング範囲外の不透明度を設定します。

全画面表示

前へ 次へ

次の画像を表示します。*

前の画像を表示します。*

キャンセル OK

設定内容をすべてキャンセルして、トリミング画面を閉じます。

設定内容が画像に適用され、トリミング画面を閉じます。

* 複数の画像を選んでトリミング画面を表示したときに動作します。

3 【OK】 ボタンを押す

- 【縦横比】 の設定、全画面表示／通常画面表示の切り換えは、画像上で〈control〉+クリックして表示されるメニューで行うこともできます。
- キーボードの〈esc〉キーを押すと、【リセット】（設定前の状態に戻す）することができます。
- ショートカットの一覧は、4-7 を参照してください。

画像を修正する

修正したい個所と同じ画像の他の部分をコピーして、ペーストすること（スタンプ）ができます。

1 【ツール】メニュー ▶ 【コピースタンプツールを起動】を選ぶ

→ スタンプツール画面が表示されます。

2 【100%表示】 ボタンを押す

→ 画像が 100%表示になります。



3 修正したい個所を表示する

- 画像上でドラッグ操作を行い、修正したい個所を表示します。

4 コピーする部分を指定する

- 【コピー元を指定する】 ボタンを押して、コピーする部分をクリックします。
- コピーする部分を変更するとき、再度上記の操作を行ってください。

コピーする部分を指定します。
【100%表示】にしたときのみ、有効になります。

画像を 100%表示にします。再度ボタンを押すと画面の大きさに合わせた表示になります。

スタンプの種類を選ぶことができます。
【ブラシ】を選ぶと、ペーストした画像の境界線がブラシ状に処理されます。
【鉛筆】を選ぶと、ペーストした画像の境界線がはっきりと処理されます。

コピー元の位置を固定します。

1 つ前の状態に戻します。

修正前の状態に戻します。

設定した修正内容をコピーします。

前の画像を表示します。*

設定内容をすべてキャンセルして、コピースタンプ画面を閉じます。



全画面表示にします。元の画面に戻すときは、再度ボタンを押します。

スライダーの操作や【▲】／【▼】ボタンを押して、ペーストする画像の大きさ（半径）を設定します。

最後の修正状態に戻します。

1 つ先の状態に戻します。

コピーした修正内容を、画像に反映します。

次の画像を表示します。*

設定内容が画像に適用され、コピースタンプ画面を閉じます。

* 複数の画像を選んでコピースタンプ画面を表示したときに動作します。

5 画像を修正する

- 画像上の修正したい個所をドラッグします。画面上の【+】がコピー元、【○】がコピー先になります。
- ➔ コピー元の画像がドラッグした位置にペーストされます。

6 【OK】 ボタンを押す

- 手順 2 の操作は、修正したい個所をダブルクリックして、100%表示にすることもできます。また、再度ダブルクリックすると元の表示に戻ります。
- 手順 4 の操作は、<option> キーを押しながらコピーする部分をクリックして指定することもできます。
- 全画面表示は、キーボードの <⌘> + <F11> キーを押すことで元の表示に戻すこともできます。
- ショートカットの一覧は、4-7 を参照してください。

RAW 画像を編集する

Digital Photo Professional が対応している RAW 画像に、各種の編集を行うことができます。

1 RAW 画像を選ぶ (1-7)

2 RAW 画像を編集する (1-23 ~ 1-29)

- 編集内容は、コピーして他の画像にペーストし、反映することもできます。(1-31)
- 編集した画像を、最後に保存した状態や撮影時の状態に戻すことができます。(1-32)

3 編集した画像を保存する (1-33)



- PowerShot Pro1 の RAW 画像は編集できません。
- 編集した画像を保存 (1-33) してから、Digital Photo Professional を終了してください。



- 複数の画像を選んでいるときは、選んだすべての画像に編集内容が適用されます。
- 編集内容は、画像とは別の単独ファイルとして保存できます。(1-30)
- 編集した画像は、レタッチソフトに転送することができます。(1-39)

ホワイトバランスを調整する

ホワイトバランスの調整は、ホワイトバランスを選ぶ、色温度の設定、カラーホイール、クリックホワイトバランスの4種類の方法で行うことができます。

1 【ホワイトバランス】 ボタンを押す

- 【ホワイトバランス調整】 画面が表示されます。
- 【調整】 メニュー ▶ 【ホワイトバランス】 を選んで表示することもできます。



2 各種の方法でホワイトバランスを調整する (1-24 ~ 1-27)

3 【閉じる】 ボタンを押す

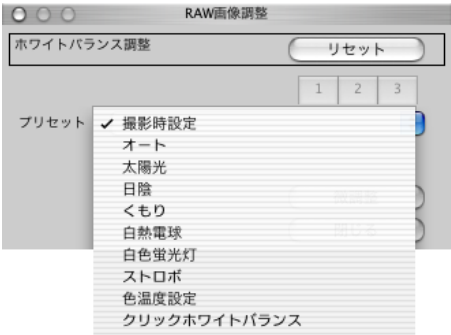
1

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

ホワイトバランスを選ぶ

リストボックスからホワイトバランスを選ぶことができます。

ホワイトバランスを選ぶ

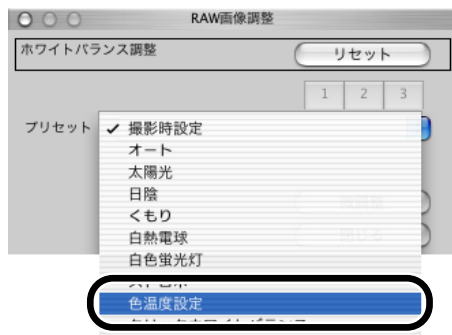


ホワイト バランス	内 容	色温度 K (ケルビン)
撮影時設定	撮影時のホワイトバランスを適用するときに選びます。	—
オート	自動的にホワイトバランスを調整します。	約 3000 ～ 7000
太陽光	晴天の屋外で撮影したときに選びます。	約 5200
日陰	屋外の日陰で撮影したときに選びます。	約 7000
くもり	曇天や日陰、薄暮、夕焼け空などで撮影したときに選びます。	約 6000
白熱電球	白熱電球の照明で撮影したときに選びます。	約 3200
白色蛍光灯	白色蛍光灯の照明で撮影したときに選びます。	約 4000
ストロボ	ストロボを使用して撮影したときに選びます。	約 6000
色温度設定	ホワイトバランスの色温度を 2800 ～ 10000K (100K ステップ) の範囲で直接設定することができます。(1-25)	約 2800 ～ 10000
クリック ホワイト バランス	クリックホワイトバランスを行った画像を選んだときに表示されます。	—

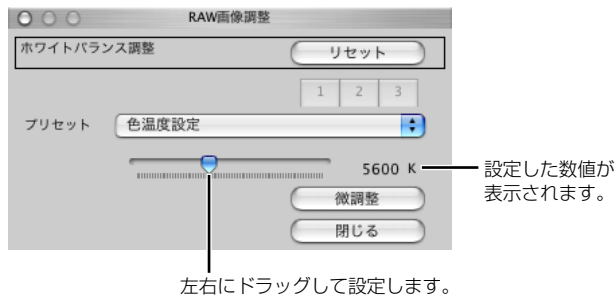
色温度を設定する

色温度を 2800 ～ 10000K（100K ステップ）の範囲で設定し、ホワイトバランスを調整することができます。

1 「色温度設定」を選ぶ



2 画像を見ながら調整する



1

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

カラーホイールで調整する

カラーホイールで好みの色を直接選んで、ホワイトバランスを調整することができます。
また、色あいを 0 ～ 359（1 ステップ）、色の濃さを 0 ～ 255（1 ステップ）の範囲で設定することもできます。

1 【微調整】 ボタンを押す

→ カラーホイールが表示されます。



2 画像を見ながら調整する

● 【□】 をドラッグして調整します。



0 ～ 359 の範囲で数値を入力するか、【▲】／【▼】ボタンを押して設定します。

0 ～ 255 の範囲で数値を入力するか、【▲】／【▼】ボタンを押して設定します。

クリックホワイトバランス

選んだ部分を白の基準として、自動的にホワイトバランスを調整することができます。

1 【クリック (RAW)】 ボタンを押す

- ➔ 画像の上にカーソルを移動すると、【】が【】に変わります。



2 白の基準とする部分をクリックする

- ➔ 選んだ部分が白くなるように調整されます。
- 続けて別の部分をクリックすると、再度調整されます。
- クリックホワイトバランスを終了するときは、【クリック (RAW)】ボタンを押します。



- カursorの座標位置と RGB 値 (8bit 換算) がメイン画面の左下に表示されます。(1-2)
- クリックした位置から 1 × 1 ピクセルの値を基準に画像が調整されます。
- 画像の無彩色 (ニュートラルグレー) 部分を選んで、調整することもできます。

カスタムホワイトバランス

編集画面または、セレクト編集画面で登録したカスタムホワイトバランス (2-15) を適用することができます。

【1】 ～ 【3】 のボタンを押す

- ➔ 登録されているカスタムホワイトバランスが適用されます。



- カスタムホワイトバランス未登録時は使用できません。

明るさを調整する

画像の明るさを $-2.0 \sim +2.0$ （スライダーでは $1/6$ ステップ、数値入力では 0.01 ステップ）の範囲で調整することができます。

1 【明るさ (RAW)】 ボタンを押す

→ 【明るさ調整】 画面が表示されます。

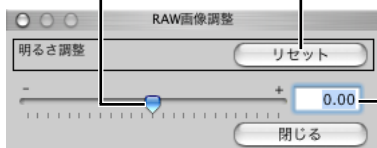
- 【調整】 メニュー ▶ 【明るさ調整 (RAW)】 を選んで表示することもできます。



2 画像を見ながら調整する

左右にドラッグして調整します。

画像を調整前の状態に戻します。



数値を入力して調整します。

3 【閉じる】 ボタンを押す

色空間の設定

環境設定（1-45）の【標準作業用色空間】とは別の色空間を、選んだ RAW 画像に設定することができます。

【調整】メニュー ▶ 【作業用色空間】 ▶ 【sRGB】 / 【Adobe RGB】 / 【Wide Gamut RGB】 のいずれかを選ぶ



設定した色空間は、RAW 画像を変換／保存（1-34、1-36）した TIFF 画像、JPEG 画像に埋め込まれる ICC プロファイルに記載されます。

色空間とは色の再現領域（色域特性）を示したもので、Digital Photo Professional では、sRGB、Adobe RGB、Wide Gamut RGB の色空間に対応しています。

sRGB : モニター、デジタルカメラ、スキャナーなどの標準色空間として広く採用されています。

Adobe RGB : sRGB よりも広域な色空間で、主に商用印刷などの業務用途で採用されています。

Wide Gamut RGB : Adobe RGB よりもさらに広域な色空間です。

編集内容（レシピデータ）を使用する

JPEG 画像、TIFF 画像、RAW 画像に適用した編集内容（1-15 ～ 1-21、2-7 ～ 2-11）や、RAW 画像に適用した編集内容（1-22 ～ 1-29、2-12 ～ 2-18）は、コピーして他の同じ種類の画像に反映したり、画像とは別の単独ファイルとして保存／読み込みをすることができます。Digital Photo Professional では、この編集内容を「レシピデータ」という名称のデータとして扱うことができます。

レシピを保存する

- 1 画像を選び、**【編集】メニュー ▶ 【レシピをファイルに保存】** を選ぶ
→ **【保存】** 画面が表示されます。

- 2 保存先を選び、ファイル名を入力して **【保存】** ボタンを押す



- **【レシピをファイルに保存】** では、レシピデータ（編集内容）のみを画像とは別の単独ファイルとして保存します。編集内容を画像に反映して保存するときは、「編集した画像を保存する」（1-33）を参照してください。
- 画像回転（1-15）、切り抜き（トリミング）（1-18）、画像修正（コピースタンプ）（1-20）は、レシピデータに含まれません。

レシピを読み込んでペーストする

- 1 画像を選び、**【編集】メニュー ▶ 【レシピをファイルから読み込み】** を選ぶ
→ **【開く】** 画面が表示されます。

- 2 レシピを選んで **【開く】** ボタンを押す

- 3 レシピを適用する画像を選び、**【編集】メニュー ▶ 【レシピを選択画像にペースト】** を選ぶ



RAW 画像にのみ適用できる編集（1-22 ～ 1-29、2-12 ～ 2-18）を行った RAW 画像のレシピデータは、JPEG 画像、TIFF 画像には適用できません。また、JPEG 画像、TIFF 画像、RAW 画像に適用できる編集（1-15 ～ 1-21、2-7 ～ 2-11）と、RAW 画像にのみ適用できる編集（1-22 ～ 1-29、2-12 ～ 2-18）の両方を行った RAW 画像のレシピデータを JPEG 画像、TIFF 画像に適用したときは、JPEG 画像、TIFF 画像にのみ適用できる編集内容が反映されます。

レシピをコピーして他の画像に適用する

1 レシピをコピーする画像を選び、【編集】メニュー ▶ 【レシピをクリップボードにコピー】を選ぶ

→ レシピがコピーされます。

2 レシピを適用する画像を選び、【編集】メニュー ▶ 【レシピを選択画像にペースト】を選ぶ

→ レシピが画像に適用されます。

- 画像回転（1-15）、切り抜き（トリミング）（1-18）、画像修正（コピースタンプ）（1-20）は、レシピデータに含まれません。
- RAW 画像にのみ適用できる編集（1-22～1-29、2-12～2-18）を行った RAW 画像のレシピデータは、JPEG 画像、TIFF 画像には適用できません。また、JPEG 画像、TIFF 画像、RAW 画像に適用できる編集（1-15～1-21、2-7～2-11）と、RAW 画像にのみ適用できる編集（1-22～1-29、2-12～2-18）の両方を行った RAW 画像のレシピデータを JPEG 画像、TIFF 画像に適用したときは、JPEG 画像、TIFF 画像にのみ適用できる編集内容が反映されます。

1

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集内容を元の状態に戻す

画像に設定した編集内容をすべて破棄して、最後に保存した状態や撮影時の状態に戻します。

最後に保存した状態に戻す

画像を選び、**【調整】メニュー ▶ 【最後に保存した状態に戻す】**を選ぶ

- ❶ 複数の画像を選んでいるときは、選んでいるすべての画像が最後に保存した状態に戻ります。

撮影時の状態に戻す

画像を選び、**【調整】メニュー ▶ 【撮影時の状態に戻す】**を選ぶ

- ❶ 複数の画像を選んでいるときは、選んでいるすべての画像が撮影時の状態に戻ります。

編集した画像を保存する

編集した設定内容を画像に反映して保存することができます。

上書き保存する

編集した内容を画像に反映して、上書き保存します。

画像を選び、**【ファイル】メニュー ▶ 【レシピを付加して保存】**を選ぶ

別名で保存する

編集した内容を画像に反映して、別画像として保存します。

1 画像を選び、**【ファイル】メニュー ▶ 【レシピを付加して別名で保存】**を選ぶ

→ **【別名で保存】**画面が表示されます。

2 保存先を選び、ファイル名を入力して**【保存】**ボタンを押す

画像にサムネイルを保存する

メイン画面の表示に使用するサムネイル画像を作成し、それぞれの画像に保存します。
メイン画面での画像表示速度や、画質が向上します。

画像を選び、**【ファイル】メニュー ▶ 【画像にサムネイルを付加して保存】**を選ぶ

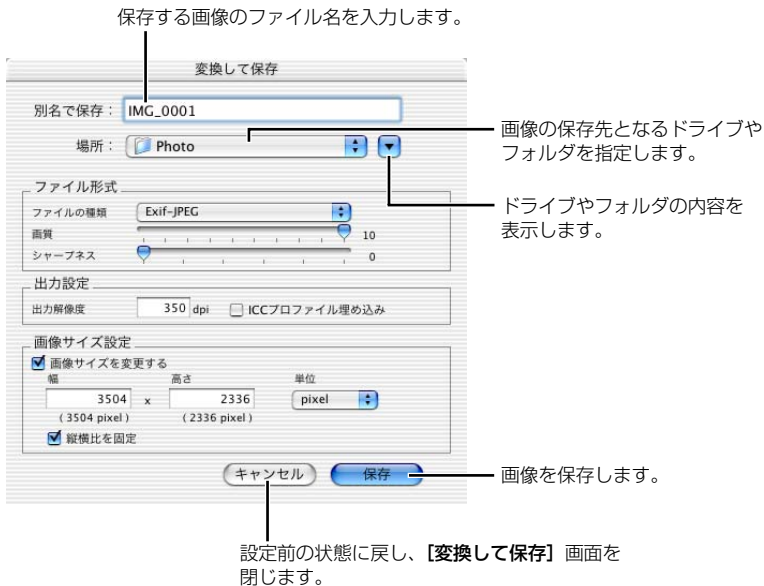


大量の画像を選んだときは、保存するまでに時間がかかることがあります。

RAW 画像を別画像に変換／保存する

編集した RAW 画像を TIFF 画像または、JPEG 画像に変換／別画像として保存することができます。

- 1 画像を選び、**【ファイル】メニュー ▶ 【変換して保存】** を選ぶ
→ **【変換して保存】** 画面が表示されます。



保存する画像の種類を **[Exif-JPEG]** / **[Exif-TIFF 8bit]** / **[TIFF 16bit]** から選びます。
保存後のファイル拡張子は、次のようになります。

画像の種類	拡張子
Exif-JPEG 画像	.JPG
Exif-TIFF 8bit 画像	.TIF
TIFF 16bit 画像	.TIF

保存する画像の種類を [Exif-JPEG] / [Exif-TIFF 8bit] / [TIFF 16bit] から選びます。
保存後のファイル拡張子は、次のようになります。

【ファイルの種類】 リストボックスで **[Exif-JPEG]** を選んだときの、画質（圧縮率）を10段階（**[1]** ~ **[10]**）で設定します。数値が大きくなるほど高画質な JPEG 画像になります。

保存する画像の出力解像度を 1 ~ 60,000dpi の範囲で設定します。

保存する画像へ ICC プロファイルを埋め込むときにチェックします。

保存する画像のシャープネスを 6 段階（**[0]** ~ **[5]**）で設定します。数値が大きくなるほどシャープネスは強くなります。

保存する画像のサイズを変更するときにチェックします。

画像の高さを設定します。

画像の単位を **[cm]**、**[inch]**、**[pixel]** から選びます。

画像の縦横比を固定するときにチェックします。

画像の幅を設定します。

2 各項目を設定して **[保存]** ボタンを押す

Wide Gamut RGB の色空間を設定（1-29、1-45）した画像を保存したときは、ICC プロファイルのチェックを外しても、自動的に ICC プロファイルが埋め込まれます。

- 編集しない画像を、別画像として保存することもできます。
- リニア処理（2-17）を行うときは、**[TIFF 16bit]** を選んで保存します。
- TIFF 画像、JPEG 画像に埋め込まれる ICC プロファイルには、環境設定（1-45）または、個別に設定した色空間（1-29）が記載されます。ICC プロファイルとは、International Color Consortium（国際照明委員会）が認定した各機器の色特性や色空間などの色に関する情報が記載されたファイルです。多くのカラーマネージメントシステムは、この ICC プロファイルを使うことで、機器間の色の違いを最小限に抑えることができます。
- **[画像サイズ設定]** は、横位置、縦位置の画像が混在していても、**[幅]** または **[高さ]** で設定した大きい方の値を、画像の長辺に適用して画像サイズを変更します。

画像を一括して変換／保存する（バッチ処理）

編集した複数の画像を別画像として一括保存することができます。また、編集した RAW 画像は JPEG 画像、TIFF 画像に一括して変換／保存することができます。

1 画像を編集する（1-15 ～ 1-29）

2 一括変換／保存する画像を選ぶ（1-7）

3 【一括保存】 ボタンを押す

- ➔ 【一括保存設定】 画面が表示されます。
- 【ファイル】 メニュー ▶ 【一括保存】 を選んで表示することもできます。

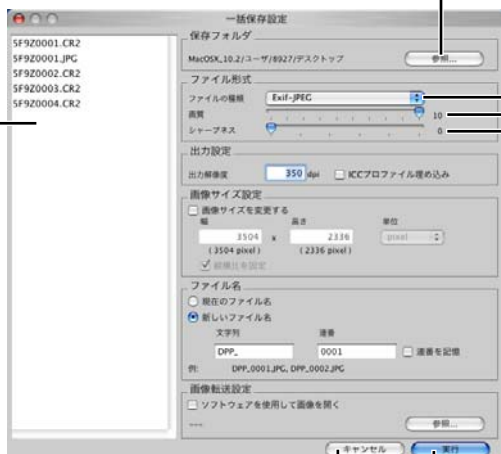


4 各項目を設定して【実行】 ボタンを押す

- ➔ 処理画面が表示され、一括保存が開始されます。
- ➔ 終了すると設定したフォルダに画像が保存され、処理画面に【終了】 ボタンが表示されます。

一括保存する画像のファイル名が表示されます。

変換後の画像を保存するフォルダを指定します。【参照】 ボタンの横には、設定したフォルダ名が表示されます。



保存する画像の種類を【Exif-JPEG】／【Exif-TIFF 8bit】／【TIFF 16bit】から選びます。保存後の拡張子は、1-35 ページを参照してください。

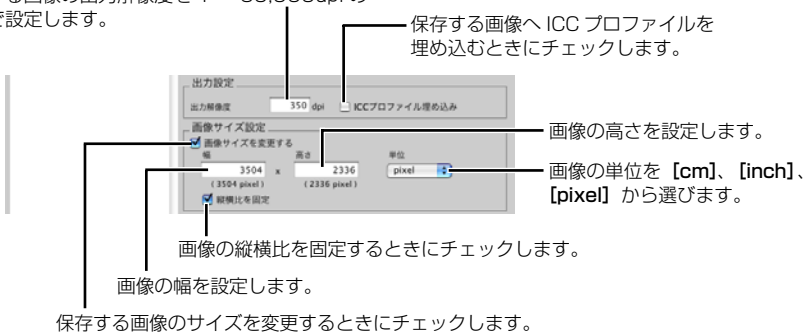
【ファイルの種類】 リストボックスで【Exif-JPEG】を選んだときの、画質（圧縮率）を 10 段階で設定します。数値が大きくなるほど高画質になります。

保存する画像のシャープネスを 6 段階で設定します。数値が大きくなるほどシャープネスは強くなります。

設定前の状態に戻し、【一括保存設定】画面を閉じます。

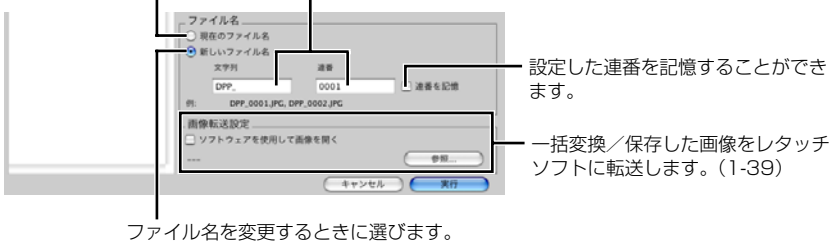
一括保存が開始されます。

保存する画像の出力解像度を 1 ～ 60,000dpi の範囲で設定します。



ファイル名を変更しないときに選びます。

【新しいファイル名】を選んだときの文字列と連番を設定します。
【例】の箇所には設定内容の使用例が表示されます。



5 【終了】 ボタンを押す

- 【ファイル名】 の【新しいファイル名】 ラジオボタンを選んだときは、【連番】を設定しないと一括保存はできません。
- Wide Gamut RGB の色空間を設定 (1-29、1-45) した画像を保存したときは、ICC プロファイルのチェックを外しても、自動的に ICC プロファイルが埋め込まれます。

- 編集しない複数の画像を別画像として、一括保存することもできます。
- TIFF 画像、JPEG 画像に埋め込まれる ICC プロファイルには、環境設定 (1-45) または、個別に設定した色空間 (1-29) が記載されます。ICC プロファイルとは、International Color Consortium (国際照明委員会) が認定した各機器の色特性や色空間などの色に関する情報が記載されたファイルです。多くのカラーマネージメントシステムは、この ICC プロファイルを使うことで、機器間の色の違いを最小限に抑えることができます。
- 【画像サイズ設定】 は、横位置、縦位置の画像が混在していても、【幅】または【高さ】で設定した大きい方の値を、画像の長辺に適用して画像サイズを変更します。

ファイル名を一括して変更する

画像のファイル名を一括して変更することができます。

1 ファイル名を変更する画像を選ぶ (1-7)

2 【ツール】メニュー ▶ 【リネームツールを起動】を選ぶ → リネームツール画面が表示されます。

3 各項目を設定して【実行】ボタンを押す → 処理が開始され、ファイル名が変更されます。

各項目から【任意の文字列】、【撮影日時】、【連番】を選んでファイル名を設定します。【任意の文字列】は複数の項目に設定できますが、【撮影日時】、【連番】が設定できるのは1つだけです。【撮影日時】、【連番】を他の項目に設定するときは、【撮影日時】または、【連番】を設定している項目を【任意の文字列】に設定し、他の項目で【撮影日時】または【連番】を設定します。

ファイルの並び順を選びます。

同時記録されたRAW画像とJPEG画像のファイル名を同名(拡張子は除く)にします。

画像をコピーして、ファイル名を変更します。

元のファイル名が表示されます。

【コピーしてリネーム】をチェックしたときの、コピーした画像の保存先を指定します。

拡張子を選びます。

連番を設定するときは、開始番号と桁数を入力します。

設定した連番を記憶することができます。

撮影日時を選びます。

区切り文字(アンダーバー)を入れます。

変更後のファイル名が表示されます。

設定内容をすべてキャンセルして、リネームツール画面を閉じます。

ファイル名の変更が開始されます。

レタッチソフトに画像を転送する

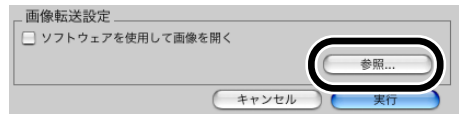
一括変換／保存した画像をレタッチソフトに転送することができます。ここでは、Adobe Photoshop 7.0 を例にしています。

1 一括変換／保存の設定をする

- 「画像を一括して変換／保存する（バッチ処理）」（1-36）の手順 1 ～ 4 までの操作を行います。

2 【一括保存設定】画面の【参照】ボタンを押す

- 【開く】画面が表示されます。



3 画像を転送するレタッチソフト（Photoshop 7.0）を選ぶ

- Photoshop 7.0 をインストールしたドライブ ▶ 【アプリケーション】フォルダ ▶ 【Adobe Photoshop 7】フォルダ ▶ 【Adobe Photoshop 7.0】の順に選び、【開く】ボタンを押します。

- 【開く】画面が閉じ、【一括保存設定】画面の【画像転送設定】に Photoshop が設定されます。



4 【ソフトウェアを使用して画像を開く】チェックボックスをチェックする



5 【実行】ボタンを押す

- 処理画面が表示され、一括保存が開始されます。
- 一括保存が終了すると Photoshop が起動して、転送した画像が表示されます。

❗ 画像転送を行うには、Adobe Photoshop など市販のレタッチソフトが必要です。

画像を印刷する

画像を自動的に調整し、プリンターの印刷範囲に合わせて印刷します。

1 画像を選び、【ファイル】メニュー ▶ 【プリント】を選ぶ

2 印刷するプリンターを選び、【プリント】ボタンを押す → 印刷が開始されます。



- 【ファイル】メニュー ▶ 【ページ設定】を選ぶと、用紙サイズなどを設定することができます。
- 印刷に使用するプリンターのプロファイルを設定することができます。(1-45)
- CMYK シミュレーションを設定(1-45)したときは、設定した【CMYK シミュレーション用プロファイル】の色味で印刷されます。

Easy-PhotoPrint で印刷する

Easy-PhotoPrint は、キヤノン製 BJ プリンター専用の印刷ソフトです。

使用しているパソコンに、Easy-PhotoPrint 2.1 以降がインストールされているときは、Easy-PhotoPrint で印刷することができます。

画像を選び、【ファイル】メニュー ▶ 【Easy-PhotoPrint でプリント】を選ぶ

- Easy-PhotoPrint が起動します。
- Easy-PhotoPrint の画面にしたがって操作し、印刷します。



- Easy-PhotoPrint で印刷するには、バージョン 2.1 以降の Easy-PhotoPrint と、対応したキヤノン製 BJ プリンターが必要です。
- 設定した出力解像度(1-42)、切り抜き(トリミング)(1-18)は反映されません。
- CMYK シミュレーション(1-45)の設定内容は反映されません。



- 【Easy-PhotoPrint で印刷する時のマッチング形式】を【知覚的】、【相対的】から選ぶことができます。(1-45)

EOS Capture で撮影した画像を表示する

Digital Photo Professionalバージョン 1.6 は、EOS Capture バージョン 1.1 以降に対応しています。使用しているパソコンに、EOS Capture バージョン 1.1 以降がインストールされているときは、EOS Capture で撮影した画像を、リアルタイムで Digital Photo Professional に表示することができます。

1 カメラとパソコンを接続する

2 【ツール】メニュー ▶ 【EOS Capture を起動】を選ぶ

→ EOS Capture が起動します。

3 撮影する

- EOS Capture の【レリーズ】ボタンまたは、カメラのシャッターボタンを押して撮影します。
- 撮影した画像が、Digital Photo Professional のメイン画面に表示されます。

1

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

環境設定

Digital Photo Professional の各種内容を設定することができます。

1 【Digital Photo Professional】メニュー ▶ 【環境設定】を選ぶ

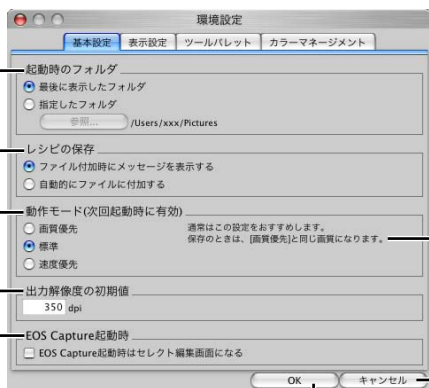
→ 【環境設定】画面が表示されます。

2 タブを選び、各項目を設定して【OK】ボタンを押す

→ 設定内容が適用され、【環境設定】画面が閉じます。

Digital Photo Professional 終了時または、メイン画面に表示している画像を他のフォルダの画像に切り換えたとき、自動的に編集内容を画像に反映して保存するか、確認画面を表示するかを選びます。

Digital Photo Professional 起動時に、前回開いていたフォルダ内容を表示するか、常に指定したフォルダ内容を表示するかを選びます。



【動作モード】の説明が表示されます。

設定前の状態に戻し、【環境設定】画面を閉じます。

チェックすると、EOS Capture を起動したときに、自動的にセレクト編集画面が表示されます。

設定内容が適用され、【環境設定】画面を閉じます。

RAW 画像を JPEG 画像、TIFF 画像に変換して保存するときの、出力解像度の初期設定値を 1 ～ 60,000dpi の範囲で設定します。

表示画像の画質や保存するときの画質を設定することができます。

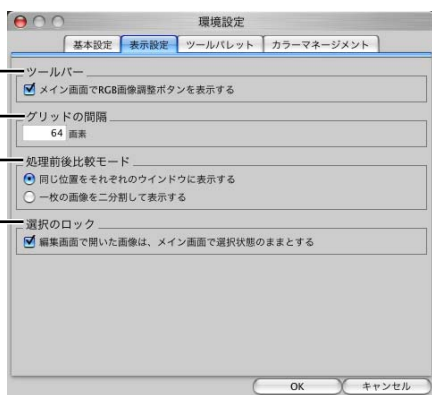
【画質優先】：画像の表示と保存のときに、各種のフィルター処理を行うため、より忠実な画質になります。ただし、画像の表示や保存には時間がかかります。

【標準】：画像の表示にはフィルター処理を行わないため【画質優先】に比べて表示速度が向上します。保存のときは、【画質優先】と同じ画質になります。

【速度優先】：画像の表示と保存のときに、各種のフィルター処理を行わないため、【画質優先】に比べて表示や保存の速度が向上します。

編集画面、セレクト編集画面でグリッド表示したときのグリッドの間隔を 8 ～ 256 画素の範囲で設定します。

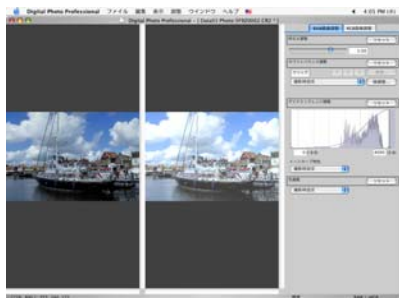
チェックを外すと、メイン画面に表示されている【クリック】ボタンと【明るさ】ボタンを非表示にします。



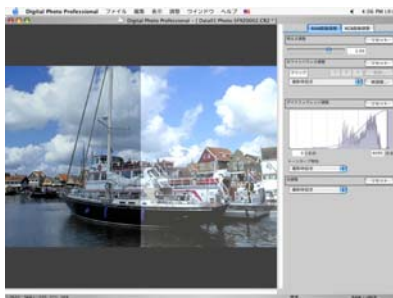
チェックすると、編集画面を閉じたときに、表示していた画像がメイン画面で選ばれた状態になります。

編集画面、セレクト編集画面で、画像を編集前後比較表示（2-6）したときの表示方法を選びます。

【同じ位置をそれぞれのウィンドウに表示する】

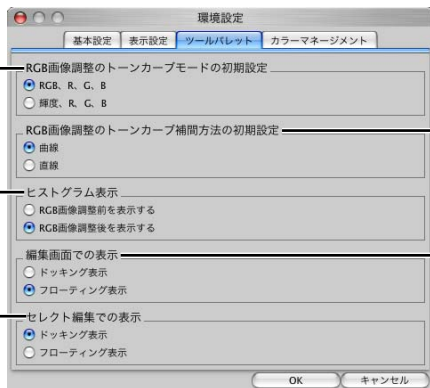


【一枚の画像を二分割して表示する】



ツールパレットの【RGB 画像調整】タブ画面に表示されるヒストグラムを、画像編集前のヒストグラムにするか、画像編集後のヒストグラムにするかを選びます。

ツールパレットの【RGB 画像調整】タブ画面に表示されるトーンカーブを、RGB で表示するか、輝度で表示するかを選びます。

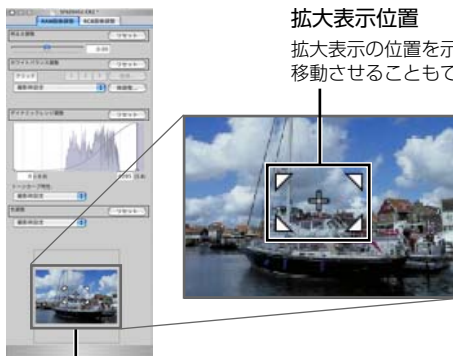


ツールパレットの【RGB 画像調整】タブ画面に表示されるトーンカーブを、曲線で結ぶか、直線で結ぶかを選びます。

編集画面のツールパレットを【ドッキング表示】（同一画面表示）にするか、【フローティング表示】（別画面表示）にするかを選びます。

セレクト編集画面のツールパレットを【ドッキング表示】（同一画面表示）にするか、【フローティング表示】（別画面表示）にするかを選びます。

【編集画面での表示】、【セレクト編集画面での表示】で【フローティング表示】を選んだときや、【ドッキング表示】を選んで画面表示を大きくしたときは、ツールパレットに画像のサムネイルが表示されます。



サムネイル表示

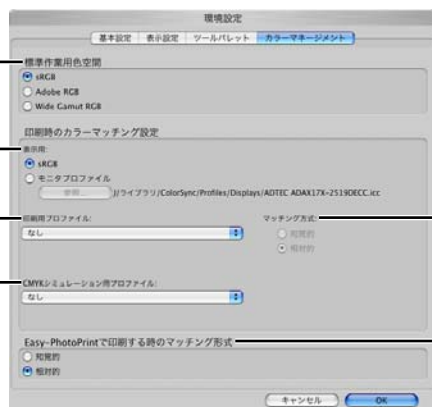
選んだ画像のサムネイルが表示されます。



【RGB 画像調整のトーンカーブモードの初期設定】、【RGB 画像調整のトーンカーブ補間方法の初期設定】を変更したときは、Digital Photo Professional を再起動すると設定内容が適用されます。ただし、変更前に画像編集（1-16～1-17、2-8～2-11）を行い、【RGB】マーク（1-5）が表示されている画像には、設定内容は適用されません。トーンカーブを〈control〉+クリックし、表示されるメニューで個別に変更（2-9）してください。

画像を表示するモニターの色空間を **[sRGB]** か、**[モニタプロファイル]** から選びます。
[モニタプロファイル] ラジオボタンを選んだときは、**[参照]** ボタンを押して、使用する
 モニターのプロファイルを選びます。

RAW 画像を TIFF 画像または、JPEG 画像に変換／保存したいときに適用する
 色空間を **[sRGB]**、**[Adobe RGB]**、**[Wide Gamut RGB]** から選びます。



印刷用プロファイルを設定したときの
 カラーマッチング方法を **[知覚的]**、
[相対的] から選びます。

Easy-PhotoPrint で印刷 (1-40)
 するときのカラーマッチング方法を
[知覚的]、**[相対的]** から選びます。

CMYK シミュレーションに使用するプロファイルを選びます。
 画像の表示、印刷に選んだプロファイルが適用され、各画面の下部に **[CMYK]** が
 表示されます。(1-2、2-2、3-3)

画像を印刷 (1-40) するとき使用するプリンターのプロファイルを選びます。



- **【標準作業用色空間】** を変更したときは、Digital Photo Professional を再起動すると設定内容が適用されます。ただし、変更前に画像編集 (1-16 ~ 1-17、2-8 ~ 2-11) を行い、**[RGB]** マーク (1-5) が表示されている画像には、設定内容は適用されません。**[調整]** メニューの **【作業用色空間】** で個別に変更 (1-29) してください。
- モニターおよびプリンターのプロファイルを選ぶには、事前に使用するプロファイルがパソコンへインストールされている必要があります。使用するモニターおよびプリンターのプロファイルについては、それぞれの機器の使用説明書を参照してください。



設定した色空間は、RAW 画像を変換／保存 (1-34、1-36) した TIFF 画像、JPEG 画像に埋め込まれる ICC プロファイルに記載されます。

色空間とは色の再現領域 (色域特性) を示したもので、Digital Photo Professional では、sRGB、Adobe RGB、Wide Gamut RGB の色空間に対応しています。

sRGB : モニター、デジタルカメラ、スキャナーなどの標準色空間として広く採用されています。

Adobe RGB : sRGB よりも広域な色空間で、主に商用印刷などの業務用途で採用されています。

Wide Gamut RGB : Adobe RGB よりもさらに広域な色空間です。

編集画面で詳細な 画像編集をする



この章では、編集画面の各機能や画像の表示方法、詳細な画像編集について説明します。

編集画面を表示する	2-2
画像の表示方法を選ぶ	2-5
表示サイズを選ぶ	2-5
グリッドを表示する	2-5
編集前、編集後の画像を同時に表示する	2-6
画像を編集する	2-7
トーンカーブ調整	2-8
色あい、色の濃さを調整する	2-11
RAW 画像を編集する	2-12
明るさを調整する	2-13
ホワイトバランスを調整する	2-13
ダイナミックレンジを調整する	2-16
色調整	2-18

編集画面を表示する

編集画面では、1枚の画像を拡大表示し、詳細な画像編集をすることができます。また、複数の編集画面を並べて、比較しながら編集することもできます。編集画面は、最大36画面まで表示することができます。

- この章では、編集画面で行える機能のみ説明しています。メイン画面と共通の機能については、各項目に記載されたページを参照してください。

サムネイル画像をダブルクリックする

- ➔ 編集画面が表示されます。
- ➔ 編集画面は、低解像な画像が表示されたあと高解像な表示に切り換わります。
- 【ファイル】メニュー ▶ 【編集画面で開く】を選んで表示することもできます。

編集画面

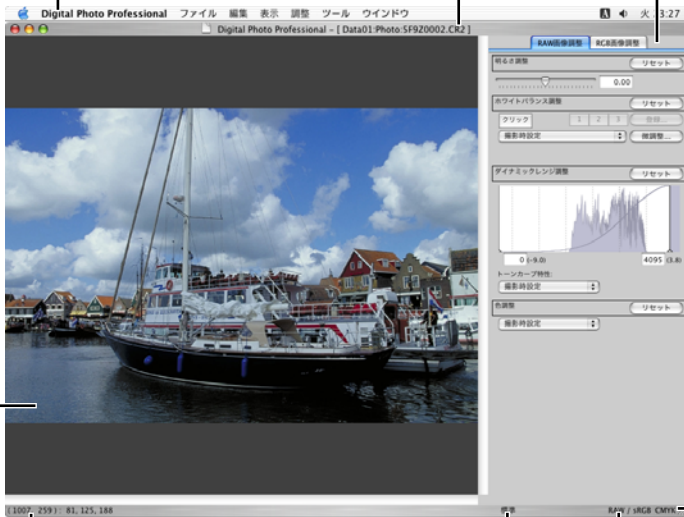
メニューバー

【Digital Photo Professional】、【ファイル】、【編集】、【表示】、【調整】、【ウインドウ】メニューを表示します。

パス表示

表示している画像が保存されているドライブやフォルダのパス、ファイル名を表示します。

ツールパレット



カーソルの座標位置とRGB値 (8bit 換算) を表示します。

動作モードを表示します。(1-42)

画像の色空間と作業用色空間を表示します。(1-29、1-45)

画像表示エリア

CMYK シミュレーション (1-45) を設定したときは、【CMYK】が表示されます。

- 編集画面の終了は、【ファイル】メニュー ▶ 【ウインドウを閉じる】を選びます。



- 画像により、高解像な表示に切り換わるまでに時間がかかることがあります。
- ツールパレットを別画面で表示するか、同一画面で表示するかを設定することができます。(1-44)

メニューバー

Digital Photo Professional メニュー

Digital Photo Professional を非表示にします。

* この機能には対応していません。

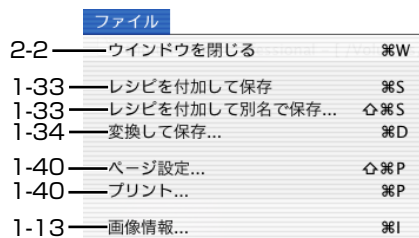
Digital Photo Professional のバージョン情報を表示します。



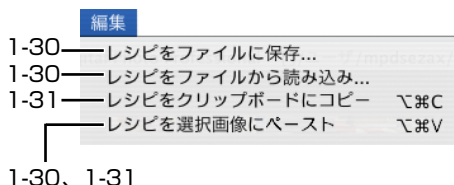
非表示にしているすべてのソフトウェアを表示します。

Digital Photo Professional 以外のソフトウェアを非表示にします。

ファイルメニュー

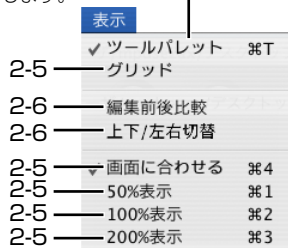


編集メニュー



表示メニュー

ツールパレットを表示／非表示にします。



ショートカットの一覧は、4-5 を参照してください。

調整メニュー

調整

1-15 左回転 96 L

1-15 右回転 96 R

1-29 作業用色空間 ▶

1-32 最後に保存した状態に戻す

1-32 撮影時の状態に戻す

sRGB

✓ Adobe RGB

Wide Gamut RGB

ツールメニュー

ツール

ウインドウ ヘルプ

1-18 トリミングツールを起動 78 T

1-20 コピースタンプツールを起動 78 S

ウインドウメニュー

ウインドウ

ウインドウをしまう 96 M

すべてを手前に移動

Digital Photo Professional - [/Volumes/DATA1/Photo]

✓ Digital Photo Professional - [/Volumes/DATA1/Photo/IMG_0002.CR2]

表示している画像のパスが表示されます。

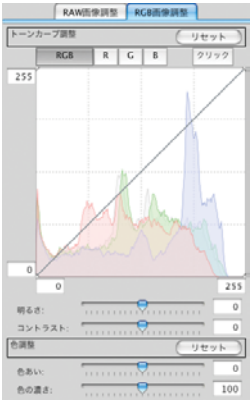
Digital Photo Professional の画面を前面に表示します。

Digital Photo Professional の画面を最小化します。

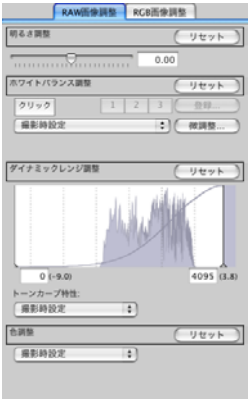
画像を表示しているフォルダのパスが表示されます。

ツールパレット

RGB 画像調整タブ画面 (2-7)



RAW 画像調整タブ画面 (2-12)



画像の表示方法を選ぶ

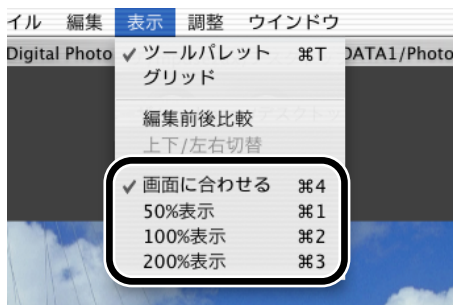
画像の表示サイズや表示方法を変更することができます。

表示サイズを選ぶ

画像の大きさを【画面に合わせる】（画面の大きさに合わせて表示）、【50%表示】、【100%表示】（ピクセル等倍）、【200%表示】の4種類から選ぶことができます。

【表示】メニュー ▶ 【画面に合わせる】 / 【50%表示】 / 【100%表示】 / 【200%表示】 のいずれかを選ぶ

- 表示サイズを大きくしたときは、画像上でドラッグ操作を行うと、画像の表示位置を変えることができます。



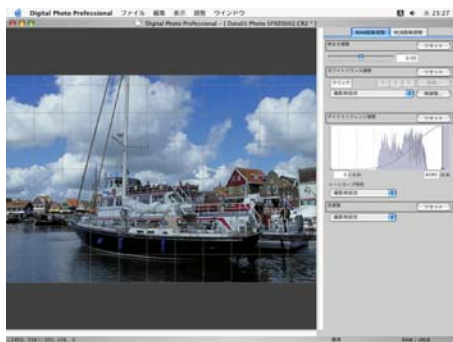
 **【画面に合わせる】** 表示の状態では、拡大したい箇所をダブルクリックすると【100%表示】になります。また、【50%表示】、【100%表示】、【200%表示】の状態では、画像上でダブルクリックすると、【画面に合わせる】表示になります。

グリッドを表示する

画像の水平度や垂直度を確認するためのグリッドを表示することができます。

【表示】メニュー ▶ 【グリッド】を選ぶ

- 再度同じ操作を行うと、グリッドが非表示になります。
- グリッドの間隔を設定することができます。（1-43）



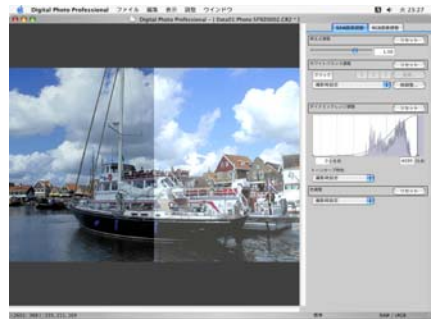
編集前、編集後の画像を同時に表示する

編集前と編集後の画像を並べて表示することができます。

【表示】メニュー ▶ 【編集前後比較】を選ぶ



- 右の表示に変更することができます。(1-43)

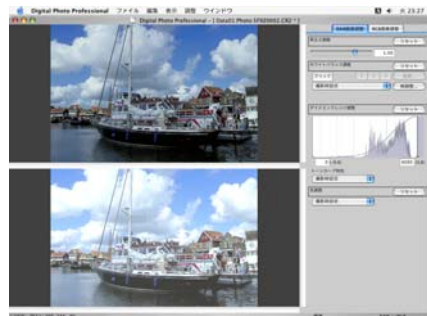


画像の表示位置を変更する

左右に表示されている画像を上下の表示にすることができます。

【表示】メニュー ▶ 【上下/左右切替】を選ぶ

- 再度同じ操作を行うと、左右に表示されます。



画像を編集する

Digital Photo Professionalが対応している RAW 画像、JPEG 画像、TIFF 画像に、各種の編集を行うことができます。

1 画像を編集画面に表示する (2-2)

- 複数の画像を表示しているときは、編集したい画像をクリックして一番手前に表示します。

2 ツールパレットの【RGB 画像調整】タブを選ぶ

- ➔ 【RGB 画像調整】タブ画面が表示されます。



3 画像を編集する (2-8 ~ 2-11)

- 編集内容は、コピーして他の画像にペーストし、反映することもできます。(1-31)
- 編集した画像を、最後に保存した状態や撮影時の状態に戻すことができます。(1-32)

4 編集前と編集後の画像を比較する (2-6)

5 編集した画像を保存する (1-33)

 編集した画像を保存 (1-33) してから、Digital Photo Professional を終了してください。

 編集内容は、画像とは別の単独ファイルとして保存できます。(1-30)

トーンカーブ調整

トーンカーブやハイライトポイント／シャドウポイント、明るさ、コントラストを操作して、画像のトーンを調整することができます。

トーンカーブは、調整前の画像（入力）と、調整後の画像（出力）の明るさと色の濃さをグラフ化したものです。撮影時に、カメラが自動的に調整した画像の明るさや色の濃さを調整することができます。また、画像全体の入力と出力を一括して調整したり、R（赤）・G（緑）・B（青）を個別に調整することもできます。

横軸は、調整前の画像（入力）の明るさと色の濃さを表し、左側がシャドウ（画像の暗い部分）、右側がハイライト（画像の明るい部分）を示しています。

縦軸は、調整後の画像（出力）の明るさと色の濃さを表し、下側がシャドウ、上側がハイライトを示しています。

トーンカーブを調整する

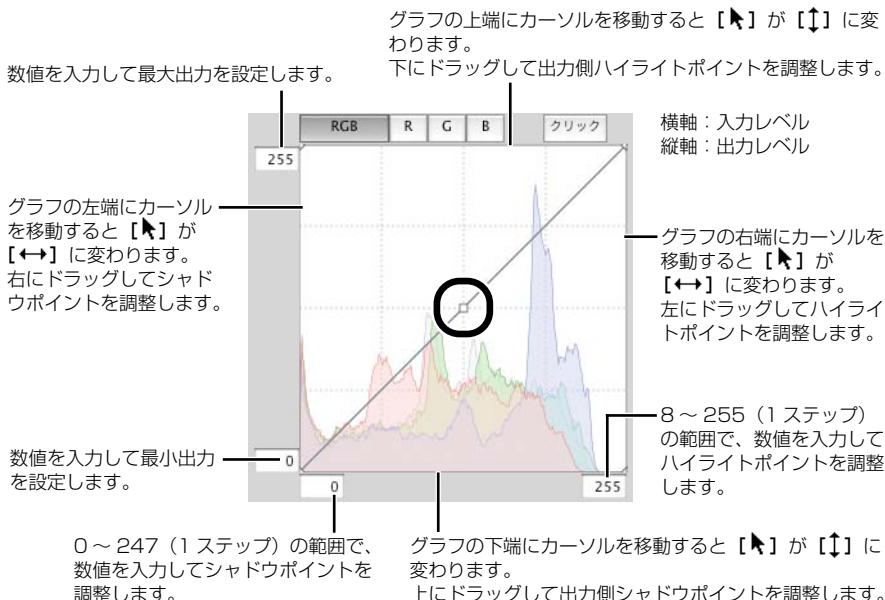
トーンカーブは、RGB トーンカーブか、輝度トーンカーブに切り換えることができます。
(1-44)

1 ボタンを押して、チャンネルを選ぶ



2 トーンカーブを調整する

- トーンカーブをクリックして【□】を表示し、任意の位置へドラッグします。
- 【□】は 8 個まで設定することができます。
- 【□】をダブルクリックすると削除されます。



シャドウポイントとハイライトポイントの最小の差は 8 ステップです。

トーンカーブを〈control〉+ クリックして表示されるメニューや、【環境設定】画面の【ツールパレット】タブ画面 (1-44) から、トーンカーブの結びかた、トーンカーブの表示を変更することができます。

クリックホワイトバランス

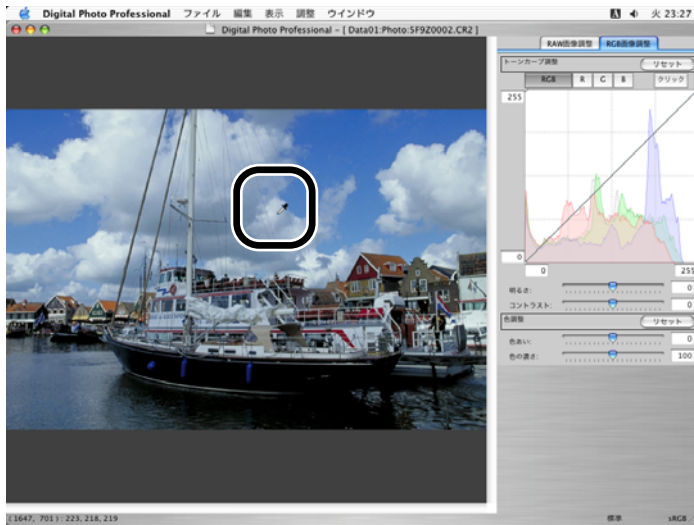
選んだ部分を白の基準として、自動的にホワイトバランスを調整することができます。

1 【クリック】 ボタンを押す

→ 画像の上にカーソルを移動すると、【】が【】に変わります。



2 白の基準とする部分をクリックする



- 選んだ部分が白くなるように調整されます。
- 続けて別の部分をクリックすると、再度調整されます。
- クリックホワイトバランスを終了するときには、【クリック】 ボタンを押します。

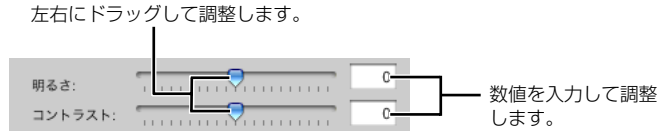


- クリックした位置から 1 × 1 ピクセルの値を基準に画像が調整されます。
- 画像の無彩色（ニュートラルグレー）部分を選んで、調整することもできます。

明るさ、コントラストを調整する

明るさ、コントラストを $-100 \sim +100$ (1 ステップ) の範囲で調整することができます。

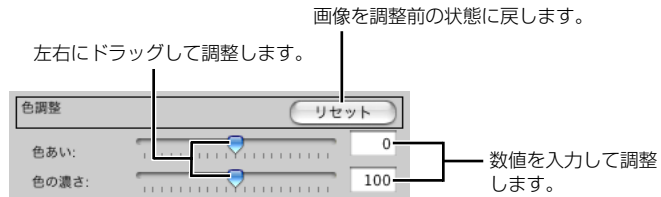
画像を見ながら調整する



色あい、色の濃さを調整する

色あいを $-30 \sim +30$ (1 ステップ) の範囲、色の濃さを $0 \sim 200$ (1 ステップ) の範囲で調整することができます。

画像を見ながら調整する



RAW 画像を編集する

Digital Photo Professional が対応している RAW 画像に、メイン画面よりも詳細な編集をすることができます。

1 RAW 画像を編集画面に表示する (2-2)

- 複数の画像を表示しているときは、編集したい画像をクリックして一番手前に表示します。

2 ツールパレットの【RAW 画像調整】タブを選ぶ

- ➔ 【RAW 画像調整】タブ画面が表示されます。



3 RAW 画像を編集する (2-13～2-18)

- 編集内容は、コピーして他の画像にペーストし、反映することもできます。(1-31)
- 編集した画像を、最後に保存した状態や撮影時の状態に戻すことができます。(1-32)

4 編集前と編集後の画像を比較する (2-6)

5 編集した画像を保存する (1-33)

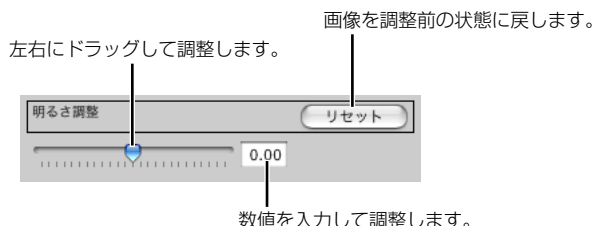
- ❗ ● PowerShot Pro1 の RAW 画像は編集できません。
- 編集した画像を保存 (1-33) してから、Digital Photo Professional を終了してください。

 編集内容は、画像とは別の単独ファイルとして保存できます。(1-30)

明るさを調整する

画像の明るさを $-2.0 \sim +2.0$ （スライダーでは $1/6$ ステップ、数値入力では 0.01 ステップ）の範囲で調整することができます。

画像を見ながら調整する



ホワイトバランスを調整する

ホワイトバランスの調整は、ホワイトバランスを選ぶ、色温度の設定、カラーホイール、クリックホワイトバランスの4種類の方法で行うことができます。

ホワイトバランスを選ぶ (1-24)

リストボックスからホワイトバランスを選ぶことができます。

色温度を設定する (1-25)

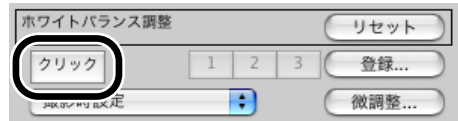
色温度を $2800 \sim 10000\text{K}$ （ 100K ステップ）の範囲で設定し、ホワイトバランスを調整することができます。

クリックホワイトバランス

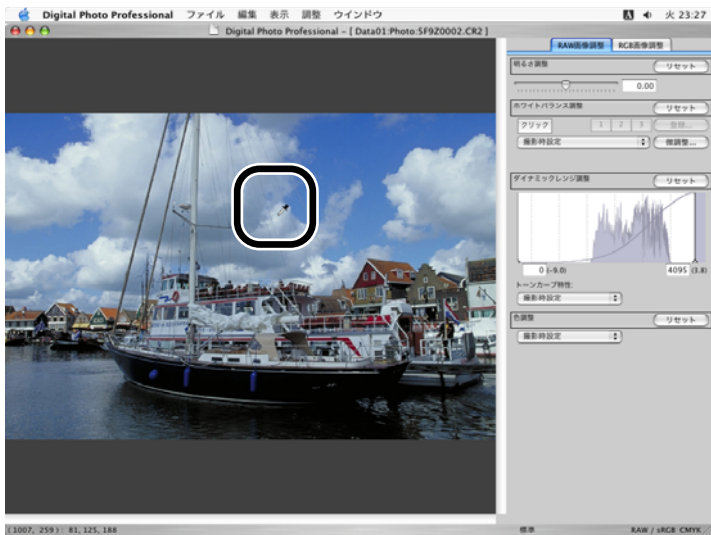
選んだ部分を白の基準として、自動的にホワイトバランスを調整することができます。

1 【クリック】 ボタンを押す

- 画像の上にカーソルを移動すると、**【A】** が **【】** に変わります。



2 白の基準とする部分をクリックする



- 選んだ部分が白くなるように調整されます。
- 続けて別の部分をクリックすると、再度調整されます。
- クリックホワイトバランスを終了するときは、**【クリック】** ボタンを押します。



- クリックした位置から 5 × 5 ピクセルの範囲の平均値を基準に画像が調整されます。
- 画像の無彩色（ニュートラルグレー）部分を選んで、調整することもできます。

カラーホイールで調整する (1-26)

カラーホイールで好みの色を直接選んで、ホワイトバランスを調整することができます。また、色あいを 0 ～ 359 (1 ステップ)、色の濃さを 0 ～ 255 (1 ステップ) の範囲で設定することもできます。

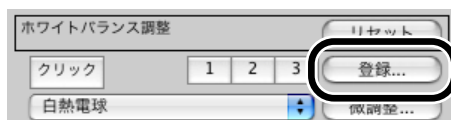
調整したホワイトバランスを登録する (カスタムホワイトバランス)

調整したホワイトバランス結果をカスタムホワイトバランスとして、3 つまで登録することができます。

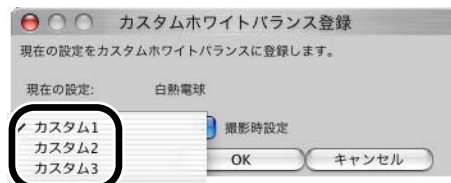
1 ホワイトバランスを調整する (2-13 ～ 2-15)

2 【登録】 ボタンを押す

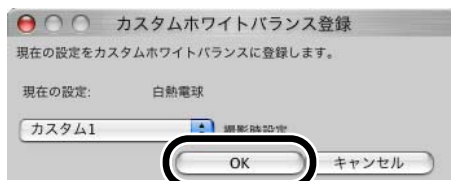
→ 【カスタムホワイトバランス登録】
画面が表示されます。



3 リストから登録するボタンを選ぶ



4 【OK】 ボタンを押す



カスタムホワイトバランス (1-27)

登録したカスタムホワイトバランスを適用することができます。

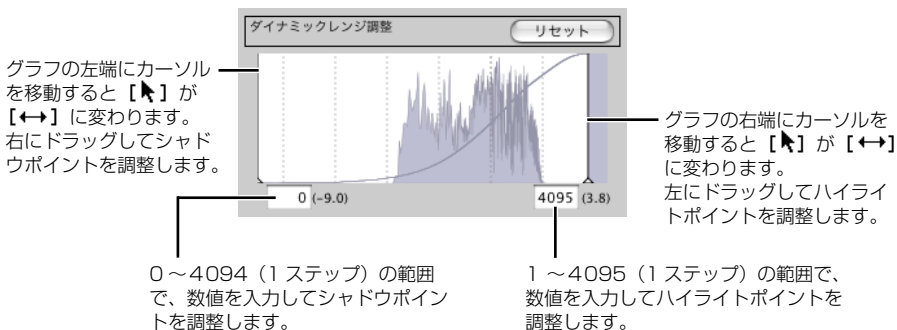
ダイナミックレンジを調整する

画像のハイライトポイントとシャドウポイントの調整や、トーンカーブの特性を選ぶことができます。

シャドウ／ハイライトポイントを調整する

シャドウポイント（もっとも暗い部分）とハイライトポイント（もっとも明るい部分）を設定し、画像の階調を調整することができます。

画像を見ながら調整する



トーンカーブを選ぶ

【撮影時設定】または、【リニア】を選ぶ

【撮影時設定】：撮影されたときのトーンカーブにします。

【リニア】：トーンカーブをリニア（直線）にします。



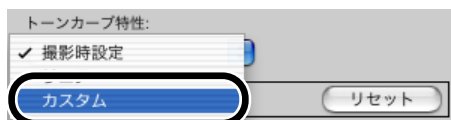
 リニア処理は、Photoshop などのレタッチソフトで、別途、画像調整を行いたいときに選びます。

トーンカーブの特性を変える

トーンカーブの特性を 5 種類の中から選ぶことができます。

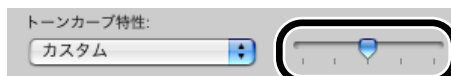
1 【カスタム】を選ぶ

→ スライダーが表示されます。



2 画像を見ながら調整する

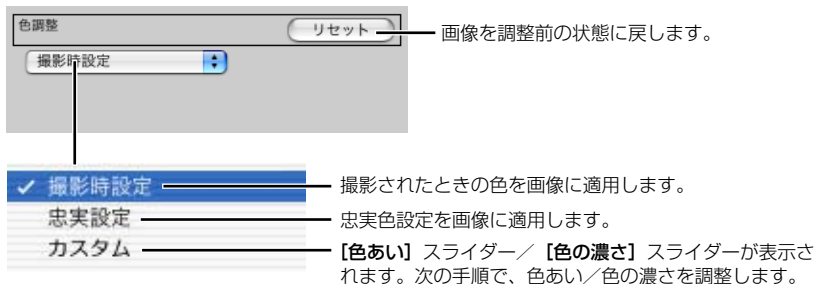
● スライダーは 5 段階になっています。左右にドラッグして特性を選びます。



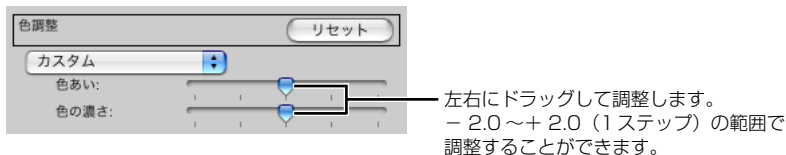
色調整

色の調整を行うことができます。

1 【撮影時設定】／【忠実設定】／【カスタム】のいずれかを選ぶ



2 画像を見ながら調整する



【忠実設定】は、EOS DIGITAL の「素材性重視の画作り」を重視した設定で、5200K 程度の環境光下で撮影した画像が、測色的に被写体の色とほぼ同じになるよう色調整されます。

セレクト編集画面で 詳細な画像編集をする



この章では、セレクト編集画面の各機能や画像の表示方法、詳細な画像編集について説明します。

セレクト編集画面の機能は、1章のメイン画面、2章の編集画面の機能と同様です。詳しい操作方法については、各項目に記載されたページを参照してください。

セレクト編集画面を表示する.....3-2

セレクト編集画面を表示する

セレクト編集画面では、複数の画像から 1 枚の画像を選んで、詳細な画像編集をすることができます。

- セレクト編集画面の機能は、1 章のメイン画面、2 章の編集画面の機能と同様です。詳しい操作方法については、各項目に記載されたページを参照してください。

1 メイン画面で複数の画像を選ぶ (1-7)

2 【セレクト編集画面】 ボタンを押す

- ➔ メイン画面からセレクト編集画面に切り換わります。
- ➔ 低解像な画像が表示されたあと高解像な表示に切り換わります。
- 【表示】メニュー ▶ 【セレクト編集画面で編集】 を選んで表示することもできます。



3 サムネイル画像表示領域の画像をクリックする

- ➔ 画像表示エリアに選んだ画像が表示されます。



4 画像を編集して保存する

セレクト編集画面

ツールバー

パス表示

表示している画像の保存されているドライブやフォルダのパス、ファイル名を表示します。

メニューバー

【Digital Photo Professional】、【ファイル】、【編集】、【表示】、【調整】、【ツール】、【ウインドウ】メニューを表示します。

ツールパレット

カーソルの座標位置とRGB値(8bit換算)を表示します。

動作モードを表示します。(1-42)

画像の色空間と作業用色空間を表示します。(1-29、1-45)

CMYK シミュレーション(1-45)を設定したときは、【CMYK】が表示されます。

サムネイル画像表示領域(3-2)

画像表示エリア
表示サイズを大きくしたときは、画像上でドラッグ操作を行うと、画像の表示位置を変えることができます。

- セレクト編集画面の終了は、【メイン画面】ボタンを押します。



- 画像により、高解像な表示に切り換わるまでに時間がかかることがあります。
- ツールパレットを別画面で表示するか、同一画面で表示するかを設定することができます。(1-44)

メニューバー

Digital Photo Professional メニュー

Digital Photo Professional を非表示にします。

* この機能には対応していません。

Digital Photo Professional のバージョン情報を表示します。

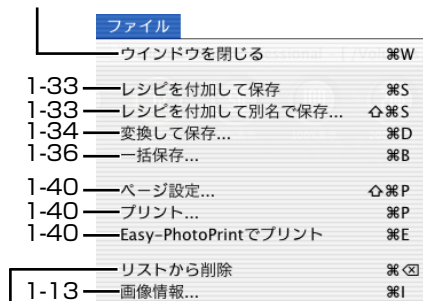


非表示にしているすべてのソフトウェアを表示します。

Digital Photo Professional 以外のソフトウェアを非表示にします。

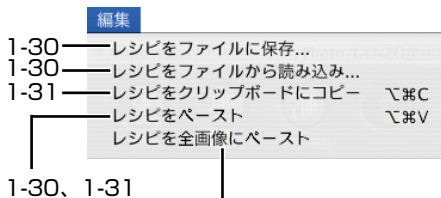
ファイルメニュー

セレクト編集画面を閉じます。



サムネイル画像表示領域の画像を削除します。

編集メニュー



コピーしたレシピデータをすべての画像にペーストします。

表示メニュー

表示

- メイン画面に戻る ⌘← ———— メイン画面に戻ります。
- ✓ ツールパレット ⌘T ———— ツールパレットを表示／非表示にします。
- 2-5 ———— グリッド
- 1-14 ———— ツールバー
- ✓ サムネイル ———— サムネイル画像表示領域を表示／非表示にします。
- サムネイル位置変更
- 2-6 ———— 編集前後比較
- 2-6 ———— 上下/左右切替
- 2-5 ———— 画面に合わせる ⌘4
- 2-5 ———— 50%表示 ⌘1
- 2-5 ———— 100%表示 ⌘2
- 2-5 ———— 200%表示 ⌘3
- 画像** ▶

サムネイル画像表示領域を縦表示または、横表示に切り換えます。

前へ ⌘↑ — 1 つ前の画像を選びます。
 次へ ⌘↓ — 1 つ後の画像を選びます。
 最初へ ———— 先頭の画像を選びます。
 最後へ ———— 最後尾の画像を選びます。

調整メニュー

調整

- 1-15 ———— 左回転 ⌘L
- 1-15 ———— 右回転 ⌘R
- チェックマークをつける ⌘M ———— 画像にチェックマークを設定します。
- チェックマークをはずす ⇧⌘M ———— 設定したチェックマークを解除します。
- 1-29 ———— **作業用色空間** ▶
- 1-32 ———— 最後に保存した状態に戻す
- 1-32 ———— 撮影時の状態に戻す

sRGB
 ✓ Adobe RGB
 Wide Gamut RGB

ツールメニュー

ツール

- 1-41 ———— EOS Captureを起動
- 1-18 ———— トリミングツールを起動 ⌘T
- 1-20 ———— コピースタンプツールを起動 ⌘S

ウインドウメニュー

ウインドウ

- Digital Photo Professionalのウインドウをしまう ⌘M ————
- 画面を最小化します。
- すべてを手前に移動
- ✓ Digital Photo Professional - [/Volumes/DATA1/Photo/IMG_0002.CR2]

Digital Photo Professionalの画面を前面に表示します。

表示している画像のパスが表示されます。

ショートカットの一覧は、4-6 を参照してください。

ツールバー

50%表示ボタン

画像を 50% で表示します。

100%表示ボタン

画像をピクセル等倍で表示します。

画面に合わせるボタン

画像を画面の大きさにあわせて表示します。

メイン画面ボタン

セレクト編集画面がメイン画面に切り換わります。

一括保存ボタン (1-36)

前の画像ボタン

1 つ前の画像を選びます。

左回転ボタン (1-15)



グリッドボタン (2-5)

ツールボタン

ツールパレットを表示／非表示にします。

次の画像ボタン

1 つ後の画像を選びます。

右回転ボタン (1-15)

サムネイルボタン

サムネイル画像表示領域を表示／非表示にします。

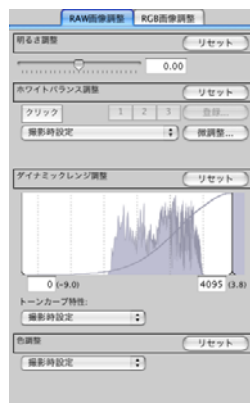
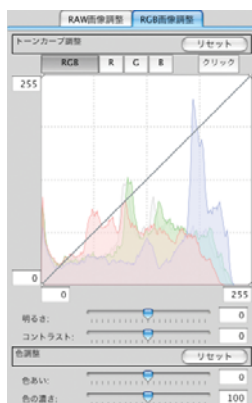
200%表示ボタン

画像を 200% で表示します。

ツールパレット

RGB 画像調整タブ画面 (2-7)

RAW 画像調整タブ画面 (2-12)



資料

4

トラブルシューティングや Digital Photo Professional の削除のほか、ショートカット一覧など、Digital Photo Professional を快適に使っていただくために、この「資料」を設けました。

トラブルシューティング	4-2
ソフトウェアを削除する（アンインストール）.....	4-3
ショートカット一覧.....	4-4
索引.....	4-8

トラブルシューティング

「手順通りにインストールできない」、「Digital Photo Professional が動作しない」、「Digital Photo Professional で、画像を表示できない」というときは、以下の項目を確認してください。

- 動作環境については、別紙の「ソフトウェアガイド」を参照してください。

手順通りにインストールできない

- 管理者以外のアカウントでログインしていませんか？
 - OS X 10.3 では、管理者権限のあるアカウントでログインしないと、ソフトウェアをインストールすることができません。管理者権限のあるアカウントでログインをお願いします。
 - ログイン方法、管理者の設定方法については、使用している Macintosh や OS X 10.3 の使用説明書などを参照してください。

Digital Photo Professional が動作しない

- Digital Photo Professional の動作環境に合ったパソコンを使用していますか？
 - 動作環境を確認してください。
- メモリ（RAM）が不足していませんか？
 - 動作環境を確認してください。
- 解像度を【1024 × 768】未満で使用していませんか？
 - 解像度を【1024 × 768】以上に設定してください。
- カラーを【約 32,000 カラー】未満で使用していませんか？
 - カラーを【約 32,000 カラー】以上に設定してください。
- 複数のソフトウェアを起動していませんか？
 - Digital Photo Professional 以外のソフトウェアを終了してください。動作環境で推奨しているメモリ（RAM）容量をパソコンに搭載していても、Digital Photo Professional と共に、他のソフトウェアを起動していると、メモリ（RAM）が不足することがあります。
- Digital Photo Professional の初期設定ファイルが壊れている？
 - 使用している Digital Photo Professional ソフトウェアの初期設定ファイルが壊れている可能性があります。すべてのソフトウェアを終了して、【Preferences】フォルダから使用する Digital Photo Professional ソフトウェアのファイルを削除して、再度 Digital Photo Professional を起動してください。
 - システムが保存されているハードディスクドライブ ▶ 【ユーザ】フォルダ ▶ ログインしているユーザーのフォルダ ▶ 【ライブラリ】フォルダ ▶ 【Preferences】フォルダの順に開き、【com.canon.Digital Photo Professional.plist】を削除します。
 - OS X 10.3 以外では、システムが保存されているハードディスクドライブをダブルクリック ▶ 【ホーム】ボタンをクリック ▶ 【ライブラリ】フォルダ ▶ 【Preferences】フォルダの順に開き、【com.canon.Digital Photo Professional.plist】を削除します。

Digital Photo Professional で、画像を表示できない

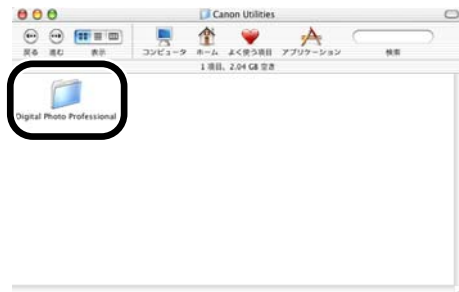
- Digital Photo Professional が対応している画像以外の画像を表示していませんか？
→ 対応画像を確認してください。(9)

ソフトウェアを削除する (アンインストール)

- OS X 10.3 を使用しているときは、インストールしたときのアカウントでログインしてください。
- Digital Photo Professional の削除をはじめる前に、起動しているすべてのソフトウェアを終了してください。
- 削除するフォルダをゴミ箱に移動したときは、[Finder] メニュー ▶ [ゴミ箱を空にする] を選び、ゴミ箱を空にしてください。ゴミ箱を空にしていない状態では、Digital Photo Professional の再インストールはできません。

1 [Digital Photo Professional] フォルダが保存されているフォルダを表示する

- [Canon Utilities] フォルダを開きます。



2 [Digital Photo Professional] フォルダをゴミ箱に移動する

3 [Finder] メニュー ▶ [ゴミ箱を空にする] を選ぶ

- [Digital Photo Professional] フォルダが削除されます。
- ソフトウェアの削除が終了したら、パソコンを再起動してください。

❗ ゴミ箱を空にして削除したデータは復元することができません。十分に注意してから削除してください。

ショートカット一覧

メイン画面

動作	キー	動作	キー
環境設定	⌘ + ,	全選択	⌘ + A
Digital Photo Professional を隠す	⌘ + H	全解除	shift + ⌘ + A
ほかを隠す	option + ⌘ + H	RAW 画像のみ選択	option + ⌘ + A
Digital Photo Professional を終了	⌘ + Q	チェックマーク付き画像のみ選択	⌘ + Y
編集画面で開く	⌘ + O	レシピをクリップボードにコピー	option+ ⌘ + C
ウインドウを開く	⌘ + N	レシピを選択画像にペースト	option+ ⌘ + V
ウインドウを閉じる	⌘ + W	セレクト編集画面で編集	⌘ + →
レシピを付加して保存	⌘ + S	サムネイル大	⌘ + 1
レシピを付加して別名で保存	shift + ⌘ + S	サムネイル中	⌘ + 2
画像にサムネイルを付加して保存	shift + ⌘ + T	サムネイル小	⌘ + 3
変換して保存	⌘ + D	情報付きサムネイル	⌘ + 4
一括保存	⌘ + B	左回転	⌘ + L
ページ設定	shift + ⌘ + P	右回転	⌘ + R
プリント	⌘ + P	チェックマークをつける	option + ⌘ + M
Easy-PhotoPrint でプリント	⌘ + E	チェックマークをはずす	shift + ⌘ + M
削除	⌘ + ⌫	トリミングツールを起動	option + ⌘ + T
画像情報	⌘ + I	コピースタンプツールを起動	option + ⌘ + S
コピー	⌘ + C	リネームツールを起動	option + ⌘ + R
ペースト	⌘ + V	ウインドウをしまう	⌘ + M

編集画面

動作	キー	動作	キー
環境設定	⌘ + ,	レシピを選択画像に ペースト	option + ⌘ + V
Digital Photo Professional を隠す	⌘ + H	ツールパレット	⌘ + T
ほかを隠す	option + ⌘ + H	画面に合わせる	⌘ + 4
Digital Photo Professional を終了	⌘ + Q	50% 表示	⌘ + 1
ウインドウを閉じる	⌘ + W	100% 表示	⌘ + 2
レシピを付加して保存	⌘ + S	200% 表示	⌘ + 3
レシピを付加して別名で 保存	shift + ⌘ + S	左回転	⌘ + L
変換して保存	⌘ + D	右回転	⌘ + R
ページ設定	shift + ⌘ + P	トリミングツールを起動	option + ⌘ + T
プリント	⌘ + P	コピースタンプツールを 起動	option + ⌘ + S
画像情報	⌘ + I	ウインドウをしまう	⌘ + M
レシピをクリップボードに コピー	option + ⌘ + C	—	—

セレクト編集画面

動作	キー	動作	キー
環境設定	⌘ + ,	メイン画面に戻る	⌘ + ←
Digital Photo Professional を隠す	⌘ + H	ツールパレット	⌘ + T
ほかを隠す	option + ⌘ + H	画面に合わせる	⌘ + 4
Digital Photo Professional を終了	⌘ + Q	50% 表示	⌘ + 1
ウインドウを閉じる	⌘ + W	100% 表示	⌘ + 2
レシピを付加して保存	⌘ + S	200% 表示	⌘ + 3
レシピを付加して別名で保存	shift + ⌘ + S	前へ	⌘ + ↑
変換して保存	⌘ + D	次へ	⌘ + ↓
一括保存	⌘ + B	左回転	⌘ + L
ページ設定	shift + ⌘ + P	右回転	⌘ + R
プリント	⌘ + P	チェックマークをつける	option + ⌘ + M
Easy-PhotoPrint でプリント	⌘ + E	チェックマークをはずす	shift + ⌘ + M
リストから削除	⌘ + ⌫	トリミングツールを起動	option + ⌘ + T
画像情報	⌘ + I	コピースタンプツールを起動	option + ⌘ + S
レシピをクリップボードにコピー	option + ⌘ + C	ウインドウをしまう	⌘ + M
レシピをペースト	option + ⌘ + V	—	—

トリミングツール画面

動作	キー	動作	キー
前画像を表示	⌘ + ←	トリミング範囲をリセット	esc
次画像を表示	⌘ + →	トリミングを設定せずに終了	⌘ + W

コピースタンプツール画面

動作	キー	動作	キー
全画面表示／通常画面表示の切り換え	⌘ + F11	修正前の状態に戻す	option + ⌘ + Z
修正内容を反映せずに終了	esc	コピー先の半径を 5 画素単位で設定	option + ⌘ + ↑、 option + ⌘ + ↓
前画像を表示	⌘ + ←	コピー先の半径を 1 画素単位で設定	shift + ⌘ + ↑、 shift + ⌘ + ↓
次画像を表示	⌘ + →	コピー元を指定する（100%表示のときのみ有効）	option + クリック
修正内容をコピー	⌘ + C	コピー元指定後に画像の表示位置を移動（100%表示のときのみ有効）	control + ドラッグ
修正内容をペースト（縦横が同じ画素数の画像選択時のみ有効）	⌘ + V	スタンプの種類をブラシに設定	1
1 つ先の状態に戻す	⌘ + Y	スタンプの種類を鉛筆に設定	2
最後の修正状態に戻す	option + ⌘ + Y	画像の表示位置を一時的に移動	space + ドラッグ
1 つ前の状態に戻す	⌘ + Z	—	—

索引

英数字

Digital Photo Professional の	
主な機能と構成	5
Digital Photo Professional を	
起動する	1-2
Digital Photo Professional を	
終了する	1-2
Easy-PhotoPrint で印刷する	1-40
EOS Capture で撮影した画像を	
表示する	1-41
RAW 画像を編集する	1-22、2-12

あ

明るさを調整する	1-17、2-11
明るさを調整する (RAW)	1-28、2-13
色あいを調整する	2-11
色温度を設定する	1-25、2-13
色空間の設定	1-29
色調整	2-18
色の濃さを調整する	2-11

か

カスタムホワイトバランス	1-27、2-15
画像情報を表示する	1-13
画像に表示される情報	1-5
画像を印刷する	1-40
画像を選ぶ	1-7
画像を回転する	1-15
画像を切り抜く	1-18
画像を削除する	1-10
画像を修正する	1-20
画像を並べ替える	1-13
画像を表示する	1-6
画像を編集する	1-15、2-7
カラーホイールで調整する	1-26、2-15
環境設定	1-42
クリックホワイトバランス	1-16、2-10
クリックホワイトバランス	
(RAW)	1-27、2-14
グリッドを表示する	2-5
コントラストを調整する	2-11

さ

シャドウ／ハイライトポイントを	
調整する	2-16
情報付表示	1-11
ショートカット一覧	4-4
セレクト編集画面	3-3
セレクト編集画面を終了する	3-3
セレクト編集画面を表示する	1-12、3-2
操作の流れ	6
ソフトウェアを削除する	
(アンインストール)	4-3

た

対応画像	9
ダイナミックレンジを調整する	2-16
調整したホワイトバランスを登録する	
(カスタムホワイトバランス)	2-15
ツールパレット	
RAW 画像調整タブ画面	2-4、3-6
RGB 画像調整タブ画面	2-4、3-6
トーンカーブの特性を変える	2-17
トーンカーブを選ぶ	2-17
トーンカーブを調整する	2-8
トラブルシューティング	4-2

は

表示サイズを選ぶ	
サムネイル表示	1-11
セレクト編集表示	3-6
編集表示	2-5
ファイル名を一括して変更する	1-38
編集画面	2-2
編集画面を終了する	2-2
編集画面を表示する	1-12、2-2
編集した画像を保存する	
RAW 画像を別画像に変換／	
保存する	1-34
上書き保存する	1-33
画像にサムネイルを保存する	1-33
画像を一括して変換／保存する	
(バッチ処理)	1-36
別名で保存する	1-33

編集内容を元の状態に戻す	
最後に保存した状態に戻す	1-32
撮影時の状態に戻す	1-32
編集前、編集後の画像を同時に	
表示する.....	2-6
ホワイトバランスを選ぶ	1-24、2-13
ホワイトバランスを調整する...	1-23、2-13

ま

メイン画面.....	1-2
------------	-----

ら

レシピをコピーして他の画像に	
適用する.....	1-31
レシピを保存する	1-30
レシピを読み込んでペーストする	1-30
レタッチソフトに画像を転送する	1-39